

日本福祉大学同窓会会報

2026.3.15

No.
136



2025年11月2日の大同窓会、一日を通して数百枚の写真が撮られました。
厳選というと大きさですが、いくつか選んで表紙からお届けします。

- 同窓会設立70周年記念大同窓会開催報告 …………… 1
- 研究紹介『共生社会の実現に向けたパラスポーツの教育的・研究的意義
—車いすハンドボールにおける指導実践と研究活動を通して—
～健康科学部 大西 満教授～ …………… 17
- 第37回「社会福祉セミナーin鳥取」開催報告 …………… 19
- 日本福祉大学社会福祉学会（学内学会）活動案内 …………… 20
- 大学トピックス（在学生の活躍、大学のニュース） …………… 23
- 同窓生リレーずいそう …………… 25
- 地域同窓会、認定同窓会の活動報告 …………… 29
- 各種お知らせのご案内 …………… 45



設立70周年・悠久の未来へ
～新たに築く母校の誇り～



「夢・知恵・元気を育む ヒューマン・ネットワーク同窓会」の輪で繋がりましょう!!

同窓会設立70周年記念事業

大同窓会開催報告

2025年11月2日(日)



鴻上尚史氏(作家・演出家) 記念講演会

詳しくは
2ページ

『君はどう生きるか』
～コミュニケーションのヒント～

会場 東海市
芸術劇場大ホール

参加者数 957名
※オンライン参加171名



祝賀懇親会

詳しくは
3ページ

会場 東海キャンパス
5階体育館

参加者数 1,266名



プログラム

詳しくは
4ページ～

本部企画

シンポジウム、公務員交流会、
交流サロンetc.

日本福祉大学協力

大学歴史資料展示コーナーetc.

独自企画

認定同窓会、
地域同窓会など60団体以上参加



多様な記念事業

詳しくは
13ページ～

11月1日(土)

社会福祉学部ホームカミングデー、
キャンプファイヤー企画etc.
@美浜キャンパス(福祉大学祭合同開催)

11月2日(日)

半田キャンパス
30周年ホームカミングデー

8月3日(日)

オンライン交流会



大同窓会 第1部

記念式典・記念講演会

(東海市芸術劇場大ホール)



(奈良 修三 同窓会長)



(原田 正樹 学長)

記念式典

設立70周年記念大同窓会は、東海市芸術劇場大ホールにおける記念式典で幕を開けました。緞帳が開くと、そこにはステージの端から端までを埋めつくす混声合唱団OB・OG会メンバー95人の姿があり、日本福祉大学の校歌を豊かなハーモニーで歌い上げました。

この日のために全国から集ったOB・OG会の皆さまは各自で練習を重ね、当日朝のわずかな時間に合同リハーサルを行っただけでしたが、その歌声に同窓生はもちろん、校歌を初めて聴く一般市民の方々も魅了されたようでした。続いて奈良修三同窓会長、原田正樹学長が相次いで登壇し、来場への感謝と70周年を迎えた同窓会と大学についての紹介、そして記念講演会への期待の気持ちを述べて記念式典を締めくくりました。

鴻上尚史氏(作家・演出家)記念講演会

近著『君はどう生きるか』(講談社・2024年)をはじめ、自分らしい生き方を探し求める人たちに寄り添うメッセージを発してきた作家・演出家の鴻上尚史さん。まず、演劇の世界ではセリフのタイミングのちょっとした違いで効果や感動が大きく変わり作品の完成度に繋がることを例に挙げ、手がける演劇やテレビ番組の紹介から本題へと講演は進められました。

鴻上さんは著作・講演のタイトルである『君はどう生きるか』を、昭和初期に刊行された吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』と対比し、紅白歌合戦の視聴率の変化も例に挙げながら、多様化・個性化した現代について話を進めました。その本質は多様化を尊重という「お題目」ではなく、時間や手間がかかる「たいへんで面倒なこと」と指摘しつつ、日本では当たり前のように存在する枠組みに疑問を持たない文化が根強いことが多様化を難しくしていると説きました。そして異なる意見や価値観との共存には、無視せずコミュニケーションを通じて向き合うことが必要だとしました。それは同情(シンパシー)や無難に仲良くなることではなく、相手の主張・立場に対する洞察(エンパシー)の上にお互いを尊重しフェアな関係性を築くこと、という話が印象的でした。

また、多様化を難しくしている要因である日本の「同調圧力」にも言及しました。日本では関係性が固定的で異なる価値観の共存が難しい「世間」という単位で過ごす時間が長く、これに慣らされることで同調圧力が支配的になる一方、世間は永遠ではなく終わりが来れば生き方に行き詰まるリスクが指摘されました。同調圧力の支配が強くない世間にも属するなど環境を整えることで対応力を高め自分を守ることが可能になるといいます。そうすれば社会での対話力にも繋がりが楽に生きていきます、という言葉に大きな希望が感じられました。

鴻上さんは『COOL JAPAN』(NHK BS)、『鴻上尚史のほがらか人生相談』(AERA dot.連載)で出会った人たちのエピソードを交えながら丁寧に語りかけ、来場者の世代に関係なく聞き入る様子が印象的でした。



乾杯の挨拶



応援団同窓会「紫紺会」



ダンスサークル「Gold Cats」

大同窓会 第2部

祝賀懇親会

(東海キャンパス体育館)

記念講演会の終了後、大同窓会は会場を日本福祉大学東海キャンパスに移して第2部の祝賀懇親会へと続きました。会場の体育館に集まってきた同窓生を迎えたのはJAZZ研究会同窓会によるウェルカム演奏。「酒とバラの日々」「枯葉」などのスタンダード曲が場内の雰囲気盛り上げました。奈良同窓会長の開会挨拶に続いては、10年前の60周年記念大同窓会にも登場した応援団同窓会「紫紺会」が、今回も同窓生の絆の深さを感じさせる演武を披露しました。来賓を代表して、日本福祉大学の丸山悟理事長が乾杯の挨拶を述べ、歓談タイムに。懇親会には十分な量の食事を用意されていましたが、体育館を埋めつくすほどの同窓生に参加いただき、かなり手狭な時間帯も発生していました。

壇上では特別ゲストとして経済学部卒業生のアーティスト・ITOKiNさんと作品が紹介されたり、在学生のダンスサークル“Gold Cats”によるダンス、うたごえサークル馬酔木(同窓生)、混声合唱団OB・OG会の歌唱が次々と披露され祝賀懇親会は約90分で閉会、第3部の各団体独自企画へと大同窓会のプログラムは進みました。



うたごえサークル「馬酔木」

ITOKiNさんの作品



大同窓会 第3部

団体参加による各種企画

(東海キャンパス／東海市芸術劇場)

第3部では大同窓会に集う同窓生が所属する団体、深い絆で結ばれた仲間たちが開催する様々な企画が約3時間にわたって行われました。

【70周年記念シンポジウム】(本部企画)

2015年に日本福祉大学同窓会設立60周年記念プロジェクト「日本福祉大学の教育が重視した社会福祉の専門性とは何か？」が立ち上がり、その結果をまとめた報告書(2022年)についての意見交換会をこれまでいくつかの地域同窓会でしてきました。その最後の締めくくりとして、また同窓会設立70周年を祝う大同窓会の重要な企画として、シンポジウム「日本福祉大学の教育を未来にどう継承するか ～過去から未来に向けて参加者と一緒に語りましょう～」を開催しました。

枳中時代、美浜時代、通信教育部の卒業生に加えて、本学の教育に関わってきた教職員をシンポジストにお迎えして、プロジェクト推進者の一人である訓覇法子元教授がシンポジウムの進行係を務めました。

9名のシンポジストには、①なぜ日本福祉大学に入ったか？入ってからどうだったか？②報告書第6章の“9つの視座”についてどう思うか？③日本福祉大学の教育を未来にどう継承していくのか？の3つのテーマについて、忌憚なく自由に語っていただくとともに、会場参加者も交えた全員参加型で自由に発言できるシンポジウムになりました。

それぞれの参加者が、様々な時代背景と国による社会福祉政策や制度の変遷のもとで教育の中身が大きく変わる中、国策にそった人づくりに、いかに対峙し“人権としての社会保障の実現に向けた大学教育の実践”をめざすのかといった熱い議論もされ、日本福祉大学の教育の将来を見据え、明るく展望できる語り合いの時間を共有することができました。

引き続き行われた打ち上げ懇親会にはシンポジストの皆さまや実行委員、総務委員メンバーが参加しワイワイガヤガヤと夜遅くまで楽しく交流しました。



【公務員交流会】(本部企画)

2019年以来、2回目となる公務員交流会を開催し、学校関係者1名を含む計13名が参加しました。参加者は国家公務員、地方公務員、教職員など多様で、年齢層は30代から60代まで幅広く、退職者(OB)、現役職員、会計年度任用職員が混在しましたが、残念ながら学生の参加はありませんでした。

当初は独特な雰囲気と緊張感が漂い、場がやや固い印象を受けましたが、自己紹介が進むにつれて参加者それぞれの勤務先や現在の業務内容が明らかになり、話題が具体的になっていきました。実務の経験談や現場で直面している課題が次々と語られ、終始活発な意見交換に発展しました。途中退会を予定していた方も時間の許す限り議論に参加していただき、名刺交換や今後の連携に向けた機会が生まれました。今後は、学生の参加を呼びかけるとともに、定期的な開催につなげていきたいと考えています。公務員の皆さまの積極的な参加をお待ちしています。



【交流サロン】(本部企画)

大同窓会での交流サロンは、2023年のクリスマスコンサートに引き続き「おしゃべりピアニスト」のひらめさんを招いての企画となりました。ピアノ演奏と歌・トークによるコンサートの回数は2,000回を超え、ジャンルを問わず場や対象者に合わせた選曲と自在なアレンジで10,000曲以上を演奏してきたひらめさん。今回は設立70周年記念大同窓会という場に合わせて「あの日に戻って、聴いて歌って懐かしの青春メロディ♪」をテーマにフォークソング、ニューミュージック、昭和歌謡などのメドレーやオリジナル曲を次々と演奏し、集まった人たちも一緒に歌を口ずさんでいました。



【ダンスイベント“Nippuku Friends DANCE PARTY☆”】(東海地域ブロック企画)

祝賀懇親会にゲスト出演した在学生ダンスサークル“Gold Cats”のように、若い世代には様々なジャンルのダンスカルチャーが根付いています。東海地域ブロックの若手交流事業委員会では、ダンスを中心とした交流イベントを東海市芸術劇場大ホールで開催しました。同窓生とも一緒に活動するダンサーの伊藤幸子さんが、愛知県内を中心に活躍するダンサーやDJ、バランスポルトレーナーを招き、参加者の自由な表現が繰り広げられる楽しいステージが見られました。祝賀懇親会でのダンス披露を終えたGold Catsも合流し、同窓生やいろいろなシーンで活動するダンサーたちとの交流を深めることもできました。



【東海キャンパス拡張工事見学コーナー・大学歴史資料展示コーナー】(日本福祉大学協力企画)

東海キャンパス6階の一角には、進行中のキャンパス拡張工事の様子が見下ろせる見学コーナーが設けられ、拡張後の新キャンパスの完成予想イラスト等も展示されました。

図書館では特別展示企画が開催され、学園創立70周年記念ラジオドラマ「さいしょの一步・浅賀ふさ物語」にちなんだ展示、ヤジエセツルメントの活動の歴史を綴った展示、世界の音楽写真家・木之下晃氏(卒業生)の著作特別展示が実施されました。



認定同窓会・地域同窓会等の参加団体からの開催報告

東海キャンパス

拡大近藤直子ゼミ同窓会—第4回近直ゼミの部屋

●参加者：208名

I部は近藤直子の講演。現在であれば「要支援児」と言われるような子どもだった私が、大学3年で障害幼児と出会い大学生活に前向きになったこと、そんな私に大学院生だった郁夫が猛アタックをかけ院生同士で結婚し、夫婦生活や子育て体験を通して発達理解を深めてきたこと、後期高齢者になった現在は、人間にとっての「できなさ」の意味を考えているということ話をしました。

II部の交流会はむすび座のポパイ君の人形劇「尾張萬歳」で開幕。近藤直子の「〇×クイズ」前半の後は優子さんのミュージックケア。「ジンギスカン」をみんなで踊ってノリノリに。クイズの後半を終えた後はイクラちゃんのリードで「馬酔木」の歌を合唱・クイズ正解一位は息子一家。さすが！7位までの賞品は近藤本。10年後も元気で会おうネ！

(文責 近藤 直子)



東海キャンパス

第19回小木ゼミOGOB会

●参加者：31名

今回は、参加者同士が気軽に話せる時間をしっかり確保できるように流れを組立てました。

最初は折り紙による手遊びで場を和ませ、そのあと小木先生に「大学教授としての学びとゼミの展開」についてミニ講演をしていただきました。

続いて仲間づくりのゲームで、4~5人ずつのグループに分かれ、それぞれ「生活の中のスマホ」「自分の半生」「自己紹介」をテーマに語り合いました。初対面同士でも会話が弾み、あっという間に時間が過ぎました。

最後は近くの居酒屋で二次会を開き、2年後の再会を約束しました。

(文責 安藤 亨)



東海キャンパス

『那須野先生の思い出を語り合おう』 (那須野ゼミ同窓会)

●参加者：10名

参加者の持ち寄った写真(スライド)を鑑賞するところから始めました。若かりし頃の大学時代のゼミ会や宿舎の様子や喜寿の祝い等の那須野先生のお姿に「ほーっ」と声が上がりました。奇しくも先生の最期を看取ることとなった病院のスタッフが那須野ゼミのメンバーであったので、その方からの先生の闘病生活を聞くことができた貴重な時間ともなりました。今回は80年卒のメンバーが運営を担当しましたが、会の後に参加してくれた別の期でも連絡を取り合いSNSのグループを立ち上げたとのこと。少しでもナスノの輪が広がっていくことを期待しています。

(文責 福井 司)



東海キャンパス

草鹿先生を偲ぶ展示とゼミ映画の上映 (草鹿ゼミ1期生同窓会)

●参加者：20名

2025年は草鹿外吉先生の三十三回忌に当たります。草鹿ゼミ1期生同窓会では、先生の書籍、関連の新聞記事、思い出の写真等を展示し、ゼミ制作の映画「うつむかないで」やゼミ生が編集した「いりなか物語」等を上映しました。

91年ソ連崩壊時に中日新聞に掲載された先生の見解は今の世界情勢を見通したかのような内容で先生の見識に感嘆の声も聞かれました。草鹿ゼミ3期生、11期生、ゼミの映画制作を覚えてくださった方々の来場もあり、枋中キャンパスの映像などを懐かしく観ていただきました。ささやかな企画でしたが草鹿先生を偲び枋中キャンパスの思い出を語り合うひと時となりました。(文責 五島 美晴)



東海キャンパス

『久しぶりの同期会—同窓会設立70周年に呼応して』 (昭和44年卒業社会福祉学部1部同期会)

●参加者：13名

数年前に、岐阜で開催して次回は2~3年度の開催を予定しましたが、諸事情で開催に至りませんでした。大学を卒業し早56年過ぎ、鬼籍に入られた方もいますが、喜寿を迎えられたことを共に喜び合おうと、設立70周年記念大同窓会に呼応して、開催しました。初めて同期会に出席された方、夫婦とも健在でそろって参加された方など、前回の出席者とは違った顔ぶれて、近況や学生時代の思い出など、こもこも語り合いました。人生の中で4年間という短期間ですが、共に学生時代を過ごした同級生との語らひは、何とも言えない安らぎとエネルギーを与えてくれました。「ぜひまた同期会やろうよ」と確認し、その後時間のあるメンバーで、名古屋地域同窓会のおもてなしコーヒーをいただき帰路につきました。(文責 水野 孝安)



認定同窓会・地域同窓会等の参加団体からの開催報告

東海キャンパス

195F同窓会

●参加者：25名

6年ぶりに同窓会70周年に合わせて開催しました。卒業して27年となり、「50歳代をどう生きていくのかを考える」をテーマとして、本学の山田壮志郎教授の講演と本会の飯嶋代表の話題提供による福祉大学での学びやこれまでの経歴などの話を受けて、3グループに分かれて議論しました。近況報告に始まり、仕事のこと、家庭のこと、家族のこと、健康のこと、昨今の福祉情勢、などの意見交換を通してそれぞれに元気をもらいました。葛谷幹事から同窓生の訃報の報告もあり、5年後の同窓会に誰も欠けることなく集まることができることを誓いました。

(文責 江坂 竜二)



東海キャンパス

DI66同期会

●参加者：10名

昼食と茶菓をとりながら懇談。出席者名簿順に、近況その他なんでも話したいことを発言。時間無制限で、発言者への質問、関連発言など自由に懇談、全員が話し終わったのは16時。話題は、経営している社会福祉施設のこと、児童・民生委員や保護司の経験、地域の学校教育や子どもへの支援活動、楽しんでいる習い事やサークル活動、暮らしにAIを活用しているなど多岐にわたった。出席できなかった会員の状況なども報告された。司会者からの提案で、最後に希望する参加者から発言をしてもらい閉会。

(文責 日江井 敦子)



東海キャンパス

1967年卒業社会福祉学部I部同期会

●参加者：22名

第一回同期会を1983年2月に以中「清楽」で開催。今回が第七回。同期生188名のうち121名に案内状を送付。当日は22名が参加。全員80才台。「体調がすぐれない」「遠方までは」という理由で欠席された方が多くありました。当日は学生時代の思い出から現在の様子まで、スタートとなった大学への感謝と明日からのエネルギー、意欲につなげるお話ばかりで大変心に響きました。お亡くなりになった友人を偲びつつ、これまでの貴重な結びつきに感謝しながら最後の同期会報告といたします。

(文責 邑上 捷雄)



東海キャンパス

『Mクラス、会える時に会おう!!』

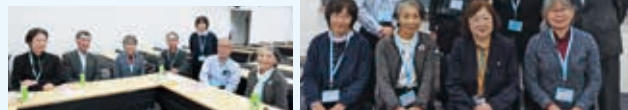
(1977年入学I部1年Mクラス同窓会)

●参加者：8名

鴻上尚史さんの「クールジャパン」講演は、具体例たっぷり学びも笑いも満載。新しい東海キャンパスは「これが母校なのか!」と感動、体育館まである。

久々すぎて名札が欲しい同級生とも再会。けがや病気で来られない仲間もいて、会える時に会おうと実感。話題は健康と時事で盛り上がり、最後は「まあ、とりあえず元気が最優先」。写真は二の次で会話が主役になってた。生きてるうちにまた集まり、今度はもっと語り合いたい。

(文責 水野 明之)



東海キャンパス

井戸田セツルメント2012

●参加者：31名

セツルメントは、学生たちが地域に入る活動を行うサークルです。私たちは名古屋瑞穂区井戸田学区に、毎週土曜、日曜に通い幼児から青年たちと活動し、家庭訪問をし、保護者(地域住民)と子供たちや生活のことを話していました。

8年ぶりに東海キャンパスに集まりました。なつかしい顔に会うと「地域変革」をどうするかと、熱い昔のセツラーに戻って盛り上がりました。孫のいる世代になった今、「学生が家庭訪問をするのを受け入れる地域住民の懐の大きさに敬服する」と話し、2年後の再会を誓い合いました。

(写真は2次会会場のもの)

(文責 大島 順一)



東海キャンパス

『歴代のワンゲル部員大集合』

(ワンダーフォーゲル部・ワンダーフォーゲル部フレンズ)

●参加者：58名

総勢58名の参加で、昭和47年卒部から平成6年卒部の世代まで、幅広い年代が集まりました。当部は70年代以前卒部のWV部同窓会と80年代以降卒部のWV部フレンズの2つの同窓会があり、今回初めての合同同窓会となりました。開村式から始まり、全員で黙とう、そして自己紹介、思い出の写真など、数十年ぶりの再会で思い思いのことを皆さま語られ、懐かしい話や現在の状況がわかり、とても有意義なひとときでした。北海道から参加された方からは遠くから参加した甲斐がありましたと連絡がありました。部員の連絡先が分からず、開催するまでの準備で2年掛かりましたが、参加された方の笑顔で苦労が報われました。次回再会を確認して散会となりました。

(文責 平松 金英)



大泉ゼミナールたてわり同窓会

●参加者：33名

70周年記念大同窓会の独自企画として、大泉ゼミナールたてわり同窓会を行いました。今回のテーマは「私と社会、私らしく生きるとは」になりました。講義の中で、先生に問かけられた言葉を、改めて振り返る企画になりました。まず先生よりお話をいただきました。ご自身の健康状態の話、大リーグの話、現在取り組んでいる北海道家庭学校の研究についての話、他からは無駄と思われることでも、積み上げていくことの大切さなど話されました。

その後参加者全員から熱い発言が続きました。
(文責 桜井 武寿)



『独自企画にて愛唱歌を公開練習する』 (混声合唱団OB・OG会)

●参加者：95名

大同窓会では記念式典の冒頭に校歌合唱を、さらに祝賀懇親会の最後にも参加者の皆さまとともに校歌斉唱をさせていただき、誠に光栄に存じました。

そして独自企画では混声合唱団50有余年の歴史のなかで歌い継がれてきた愛唱の3曲『まっしろいころ』『サリマライズ』『ハーモニー』を2時間ほどに渡ってパート練習から楽しみました。2014年の第52回定期演奏会で幕を閉じてしまった混声合唱団でしたが、OB・OG会員は久しぶりの再会に喜び旧交を温めるまたとない機会を得られたいへん感謝しております。
(文責 川井 基義)



Ⅱ部1984年卒前後拡大同窓会

●参加者：22名

2025年2月に「Ⅱ部1984年卒前後拡大同窓会」を立ち上げて70周年記念懇親会と独自の交流会を通じて会員は32名となりました。写真は11月2日、名古屋駅前の八海山越後屋での懇親会の様子です。本同窓会は、LINEオープンチャットを運営して交流を行っています。2日の同窓会では、同窓会費を積極的に納めて5人以上で地域ごとにプチ同窓会を開催しようと話し合いました。拡大同窓会ですので、ぜひご参加ください。
(文責 小川 雄司)



日本福祉大学ラグビー部OB会

●参加者：22名

大学の大同窓会開催にあわせ、2026年度に創部50周年を迎えるラグビー部として、独自企画を実施いたしました。本企画は、50周年をより盛大に迎えるための準備の一環として位置づけ、創部1期生の皆さまをお招きし、創部当時の貴重なお話や現役部員との意見交換が行われ、世代を超えた交流が生まれました。部の歴史と伝統をあらためて確認するとともに、今後の50周年事業に向けた意識を高める、非常に意義深い交流企画となりました。
(文責 山本 鉄晶)



信頼できる仲間達、これからもよろしく！ (チーム新海浜)

●参加者：9名

この度の企画には9名が参加し、「歌声喫茶タイム」や近況報告により、40数年前の学生時代と現在を行ったり来たりできた貴重な時間でした。近況報告は、アロマセラピーとして病院などで活動をしているメンバーや市会議員をしているメンバーなど、苦労しつつも生きいきとした様子に感心しました。

学生自治会の活動などで出会った信頼できる仲間と貴重な時間を過ごすことができ、参加者に感謝しています。今後も互いの健康に気をつけながら、この会を継続しお互いの絆を深めていきたいと考えています。



『枋中の思い出と仲間の絆をこれからも大切に』 (枋中勢和寮2025年同窓会)

●参加者：20人

11月2日、大同窓会の余韻もそのままS404教室で枋中勢和寮同窓会を開催、20人の参加がありました。参加者の近況報告の後、「ベンセレーモス」や「わが大地の歌」「寮歌」など数々の歌をうたいながら交流を深めました。参加者からは「毎日のように歌声があった寮時代を思い出した」「これからもこうした企画を続けて欲しい」など、枋中で過ごしたあの時を思いだすとともに、その中で培った仲間との絆を一層深めあおうと誓い、2026年6月に松本での再会を約束しました。

前日の11月1日には、まるは食堂旅館に22人が宿泊・交流し大いに盛り上がりました。(文責 木口 栄)



認定同窓会・地域同窓会等の参加団体からの開催報告

東海キャンパス

ヤジエセツルメントOS会& ヤジエセツルメント76入学世代

●参加者：21名

10年前の11月(60周年)に続き、今回も「ヤジエセツルメント76入学世代」と、祝賀懇親会に参加しました。参加者は1968年3月卒～1982年3月卒の15年間で、(全員中校舎卒)。ヤジエセツルメントが2023年より完全休止となったのは淋しい反面、卒セツ者が卒業後今まで全国で果たしてきた事の大きさを改めて実感できた交流会でした。

2階図書館の展示(伊勢湾台風とヤジエセツルメント)も系統的で、とてもよかったです。(文責 青山 正治)



東海キャンパス

「アーチェリー部40年だよ、東海キャンパスに集合」を終えて (日本福祉大学アーチェリー部OB会)

●参加者：25名

11月2日の大同窓会には初代から25代まで25名のOB・OGが集まり、メッセージ参加も含め50名を超えました。創部数名から始まったアーチェリー部OB会は今や約300名に広がり、各世代の努力に感謝しています。当日は試合や学生生活の思い出を語り合い、つながりの大切さを再認識しました。OBの活躍にも励まされ、世代を越えた交流を深めるためLINEグループの必要性も感じました。今後もOB・OG会の発展に協力をお願いします。

(文責 美船 俊介)



東海キャンパス

西尾張、南尾張地域同窓会

●参加者：14名

「地域同窓会でこんな活動があれば、参加したい」というテーマで2グループに分かれて、和気あいあいと茶話会のような感じで、自由に意見をしてもらいました。参加者の中には、もっと参加しやすいようにBBQのようなイベントで同窓生同士を知る機会から始めるのはどうかなど参加のきっかけ作りからという貴重な意見をいただきました。

参加してくれた方は計14名(西尾張地域7名、南尾張地域5名、現役学生2名)の方に参加いただきました。参加してくれた同窓生のためにお土産を用意しました。就労支援施設で作った巾着とクッキーを銀杏と一緒に巾着に詰め合わせました。また、尾張3地域同窓会(北尾張、西尾張、南尾張)のご案内のチラシを配布し、活動紹介をいたしました。(文責 伊藤 喜之)



東海キャンパス

森靖雄ゼミナール同窓会

●参加者：16名

70周年記念大同窓会にあわせ、森ゼミ同窓会を開催しました。毎年4月第3土曜日に行っている同窓会ですが、今年は4月に続き二回目の開催となり、遠方からの参加者を含む16名が集まりました。90歳を迎えられた森靖雄先生は、学生時代と変わらずお元氣なお姿で、近況報告や思い出話に会場は終始和やかな雰囲気になりました。久しぶりに旧友と再会できたことに心より感謝いたします。

なお、来年は4月18日(土)に開催予定ですので、ぜひご参加ください。



東海キャンパス

『ウェルカム演奏と大同窓会』 (日本福祉大学JAZZ研究会同窓会)

●参加者：19名

日本福祉大学JAZZ研究会同窓会は、祝賀懇親会のウェルカム演奏を担当することとなり、この日のために結成した同窓生バンドによるスタンダードナンバーの演奏で来場される同窓生をおもてなしました。祝賀懇親会後もひきつづき同窓生で演奏と食事を楽しみました。卒業しても演奏活動を続けている同窓生の演奏は聴きごたえがありました。また、途中にはJAZZ研同窓生ではない同窓生の飛び込みゲスト参加や同窓生のお子さん(幼稚園生)の参加もあり、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。(文責 牧野)



東海キャンパス

西三河／碧海、西三河／西尾地域同窓会

●参加者：24名

同窓会設立70周年記念大同窓会に碧海・西尾地域同窓会合同で参加しました。合同の集いとして、「西尾子ども食堂とフードバンクの取り組み」、「特養せんねん村の取り組み」の報告があり、熱心に討議が行われました。また、第2部の交流会では、自己紹介や近況報告が行われ、仕事への取り組みなどについて活発な話し合いが行われました。

びっくりしたのは体育館で開催された祝賀懇親会の人数の多さでした。福祉大への思いが参加者の心に強くあることがよく分かりました。同窓会の益々発展を祈り、会場をあとにしました。ありがとうございました。(文責 杉浦 達也)



東海キャンパス

『懸賞論文受賞者との茶話会を開催しました!』 (経済学部同窓会)

●参加者：18名

経済学部同窓会の独自企画として「懸賞論文受賞者との茶話会」を開催し、4名の受賞者にご参加いただきました。各受賞者からは論文作成時の苦労話や社会に出てから感じたこと、近況報告などをお聞かせいただき、参加者にとって大変有意義な交流の場となりました。また先立って開催しました総会では多くの卒業生にご参加いただき、2023年から3年間の活動報告を行いました。経済学部の卒業生であるアーティストITOKiNさんにもお越しいただき、貴重なお話を伺うことができました。今後も同窓生間の絆を深める活動を継続してまいります。

(文責 近藤 英夫)



東海キャンパス

『15年ぶりのゼミ同窓会』(近藤充代ゼミ同窓会)

●参加者：15名

2010年9月に集まって以来、実に15年ぶりのゼミ同窓会が東海キャンパスで行われました。

充代先生がゼミ合宿や研究室で撮った写真や、デジタルデータをご用意くださり、思い出話に花が咲きました。

実は先生の定年時、最終講義に花を用意して駆けつけよう!と仲の良かった先輩達と話していたのですが、2020年は折しもコロナ禍で実現できずじまい…。そこで5年後の完全退職を迎える時にリベンジ兼ねてまた同窓生で集まろうという話でまとまりました。

今回は都合で参加できなかった方も2030年はゼミ同窓会があると覚えておいてくださいね!

(文責 近藤 宏和)



東海キャンパス

『目指せ! 80周年!!』 (日本福祉大学・同女子短期大学部 応援団 紫紺会)

●参加者：38名

記憶では、40周年から応援団は記念式典で演武を披露していたように思います。今回も70周年をお祝いしようと、南は九州、北は北海道からOB・OGが集結致しました。演武をするメンバーは比較的(?)若めのメンバーです。それでも皆50を超えています。学ランが着られなくなった者も……。

しかし、気持ちだけは昔のまま。母校の益々の発展と来場の皆さまのご多幸を願い、我々の伝家の宝刀「冒頭訓・校歌・エール」を披露させていただきました。

「今回が最後だね」と集まりましたが……「こうなったら80周年もいっときますか?」

(文責 高階 和洋)



東海キャンパス

『大同窓会を開催しました!!』(国際開発同窓会)

●参加者：16名

国際開発同窓会では、第1部として東海キャンパスN304教室で「交流企画」|「千頭聡先生講演会(テーマ:現場から感じた持続可能な開発の可能性)」を開催しました。また、第2部は、会場を名古屋市内に移し「大懇親会」を開催しました。

恩師や懐かしい仲間との再会に笑顔が広がり、講演や交流をとおして学生時代の学びや様々な思い出が思い起こされました。恩師や仲間、母校との絆を深めるあたたかな時間となりました。

(文責 牧野)



東海キャンパス

『明星会』(日本福祉大学大学院中島・若山ゼミ同門会)

●参加者：18名

日本福祉大学同窓会設立70周年記念大同窓会の団体参加企画として講演会を開催しました。講師として愛知学院大学名誉教授・岩田憲明先生をお招きしました。岩田先生には、「私の名古屋企業研究」と題してご自身の約50年に及ぶ研究生生活を振り返り、興味深い研究事例を交えながら長時間に亘り熱く語っていただきました。

講演会終了後、「明星会」設立後初めての同窓会開催のため、決起集会と称して「明星会」事務局にて日本福祉大学同窓会による認定同窓会への活動支援内容を説明し、今後の「明星会」の活動への参加・協力を呼びかけました。

(文責 宮田 隆)



東海キャンパス

『うたごえサークル馬酔木「大唄おう会」』

●参加者：64名

それは、一人の呟き「馬酔木で集まることできないかな?」から始まりました。「みんなで唄いたい」の呼びかけに世代を超え100名を超す輪が生まれ、60名程が駆けつけてくれました。

大懇親会では、「天使のハンマー・我が大地のうた・ケサラ」の三曲を。唄い始めると「おっ、馬酔木だ」「馬酔木じゃない?」と、いくつかの声があがり。私たちのうた声に会場の皆さまのうた声が重なり響けました。

改めて馬酔木であって良かったと。涙腺の震えの止まらぬ時となりました。その後の「大唄おう会」では、サークル員以外にも多くの方の参加をいただき予定の3時間も瞬く間に過ぎ去りまだまだ唄い足りない程でした。



認定同窓会・地域同窓会等の参加団体からの開催報告

東海キャンパス

1971年入学社福2部1Fクラス同窓会

●参加者：5名

同窓会設立70周年記念大同窓会に合わせて同窓会を開催しました。午前中は東海芸術劇場では歴代の混声合唱団(総勢100名)による校歌の歌声に始まり、鴻上尚史氏の「君はどう生きるか」と題した記念講演が行われました。

午後は東海キャンパスで祝賀会や各同窓会などの独自企画が行われました。我が同窓会も会場の一画に独自の場所を設定いただき、九州、茨城、愛知などから5人のメンバーが集いました。大同窓会終了後は、金山に場所を移して近況を交流し、最後は定例のカラオケへ……。50年経っても連絡がつくのは凄いなと想いながら散会となりました。

(文責 鈴木 安夫)



東海キャンパス

静岡県、西三河/豊田・岡崎、東三河、三重県地域同窓会

●参加者：30名

同窓会設立70周年記念の独自企画として、60周年に引き続き、「みやげ屋」を開催しました。

今回は、静岡県、西三河/豊田・岡崎、東三河、そして三重県の各地域同窓会が合同で、盛大に開催しました。開店準備中から商品が売れていき、15時には全店売切れとなりました。来客数は、全店合計で500名は超えていたと思います。ありがとうございました。(文責 中西 利博)



東海市芸術劇場

『オール児童文化部同窓会を開催』(BBS赤とんぼの会 オニヤンマの会 '87同窓会)

●参加者：71名

「世代をこえてつながれ!赤とんぼ」のテーマに、年代を超えた児童文化部OB70余名の参加を得ることができました。

そのなかには現在プロや、アマチュアの人形劇団などで活躍中のOBも多数いらっしや、その方々による圧巻のパフォーマンスの披露、そして、サークル時代の経験が今の生き方にどう結びついているかなどの感動的なスピーチも行われ、参加者一同、今なお愛してやまない児童文化部と母校への思いを新たに致しました。

児童文化部Forever!

(文責 仕切 友史)



東海市芸術劇場

『今、歌人・諏訪兼位をよむ会』(短歌愛好者有志の会)

●参加者：25名

戦後80年という節目の年、諏訪兼位元学長が逝去され5年。日本福祉大同窓会設立70周年記念事業に背中を押され、この度の短歌愛好者で温めてきた夢が叶いました。まずは、身近に見届けられた福岡猛志元副学長によるエピソードや、科学者の視座でジュニア向けに解りやすい本を多く出版されたことなど、貴重なお話から始まりました。当日は、十八年間継続の短歌会のお仲間が遠方から駆けつけ、また投稿と諏訪先生を慕われた短歌愛好者、日福卒業生ら二十数名が集いました。同窓会のような旧交を温め、新たな「邂逅」を生みました。短歌題詠は「平和」。各自作の短歌の朗読と先生の思い出を語り合いました。改めて、先生のご仁徳を偲びつつ、今の時代こそ「戦争くだらない」と平和を希求した諏訪先生のご意思であるバトンを繋いでいきたい。「短歌・言葉の」持つ力を信じていきたい。(文責 永喜 富美江)



東海キャンパス

1980年卒笛木ゼミ同窓会

●参加者：6名

前回開催(2013年1月)から13年近く時が経ってしまい、その間の中でも笛木俊一先生もお亡くなりになったり、メンバーも2名が逝去したりしたため、当日の参加も6名と、若干寂しくなりましたが、それでも参加者たち同士は全員の“安否確認”を喜びあいました。

なかなかあらためて会合を開く機会もない中で、大同窓会会場とはいえ、こうした機会を設定していただき、ありがとうございました。

(文責 福田 周二)



東海キャンパス

あすなろ会

●参加者：9名

今回は大同窓会の独自企画「教育講演会」で「ウェルビーイングな学校をつくる」を演題で鈴木庸裕先生に講演をしていただきました。交流会では、保育・介護・ビジネス名古屋専門学校(併修校東京福祉大学津新教育課程)の非常勤講師の私が、同校の専任教員の山田哲史先生(2年担任)に個人的に学校紹介を依頼し、社会福祉学科(コース=社会福祉、心理学、保育児童福祉)、教育学科(コース=教育学認定心理士、教育学ICT)と併修校、オープンキャンパス、入試、進路状況等の説明や同校の学生には「アクティブラーニングを重視し、学生同士のディスカッション等の授業を通して、学習意欲と柔軟な思考力の向上をめざしている」等の紹介をしていただきました。

また静岡県の小学校に勤務する佐野円香さん(大同窓会実行協力員)には、小・中学校の9年間でめざす子ども像、教科担任制、各種サポートスタッフ、学校評価等と働き方改革(タイムカードの活用、連絡事項は掲示板を活用、事務処置、学年経営会の時間の確保、休暇の取りやすい職場環境等)等の紹介をしていただきました。

子ども一人一人の人権を尊重した向き合い方や福祉の視点からの学校教育とチーム学校のあり方等について学び合う機会になりました。(文責 木内 正範)

美浜キャンパス

日本福祉大学陸上部OBOG会

●参加者：19名

日本福祉大学同窓会設立70周年に合わせて開催しました。コロナの影響で開催できておりませんでした。6年ぶりに復活開催しました。また今回は学園祭中の美浜キャンパス開催で現役陸上部にも参加いただきました。また、初代OBの方や遠方からもお越しいただくことができました。

総会では会長の若林様・北村監督・三井顧問様からご挨拶をいただき、現役陸上部生からはビデオを使用して近況活動が報告されました。また、今後のOBOG会の運営について議論しました。総会後は現役生のアテンドにて美浜キャンパスツアーでは新設の美浜町陸上競技場・SALTOなどを見学しました。当時はグラウンドが無い中での活動でしたので、何十年ぶりにキャンパスを見学したOBOGからは最新の設備に驚きの声が出ておりました。その夜、宿泊先での懇親会では久々に再会と当時の陸上の話に大いに盛り上がりました。参加者からは今後の陸上部の活躍を期待している応援の声をいただきました。

(文責 鈴木 健吾)



美浜キャンパス

歴代大谷ゼミ

●参加者：13名

美浜キャンパスで歴代大谷ゼミ同窓会を実施しました。

社会福祉学部移転に伴い、皆の思い出が詰まった美浜で同窓会を開催できたことに喜びを感じております。各々が久しぶりに訪れた母校に懐かしさと寂しさを感じながら、あの頃の思い出を口ずさみ、一瞬だけ学生に戻ることができました。

1年に1度集まり、大谷先生を囲みながら近況報告をし合う大切なこの時間をこれからも続けていきたいです。

開催に向けてご尽力いただいた皆さまへ感謝申し上げます。

東海キャンパス

昭和37年度卒社会福祉学部I部同期会

卒業後30年目の1993年に第1回の同窓会を開催して以来、16回目の同窓会となるこの大同窓会への参加を区切りとして解散しますが、互いに健康に留意して、同期のつながりを大切にしていきたいと思っています。

(文責 大倉 裕一 松浦 國之)

東海キャンパス

『ごちゃまぜが心地いい』(障害学生支援センターともの会)

●参加者：20名

時々学生支援センター(旧:障害学生支援センター)を訪ねてくれる卒業生からの「またみんなで会いたいねー」という声にお応えして、職員のOBの協力も得て、出入り自由、ご家族づれOKのおしゃべり会をゆるく開催。10年以上前の「らくがきノート」を懐かしそうに見たり、仕事や子育て、お互いに知っている友人の話で盛り上がり、昔と同じ「ごちゃまぜ」で心地のいい時間を過ごしました。卒業生の皆さまは、新入生からの相談、就職や地域の福祉サービスの情報提供などで、今も支援センターの心強い味方です!

(文責 福田)

美浜キャンパス

日本福祉大学牧野ゼミ同窓会

●参加者：24名

11月1日(土)、美浜キャンパスにおいて、牧野ゼミ同窓会を開催しました。当日は、牧野忠康先生・奥様をはじめ、卒業生およびそのご家族を含めた24名が参加しました。今回の同窓会では、20,30年ぶりに美浜キャンパスを訪れる卒業生も多く、懐かしい思い出話や近況報告が和やかな雰囲気の中で交わされました。また、牧野忠康先生からは「少子高齢・AI/ITの社会を高齢者(人びと)はどのように暮らし、交代するのか」をテーマにお話をいただきました。先生の語られる現在・過去・未来をつなぐメッセージには、卒業生一人ひとりへの励ましと、福祉を学んだ者としての使命を改めて思い起こさせる深い示唆が込められていました。

その後、場所を変えて懇親を深め、最後に今後も牧野ゼミのつながりを大切にいき、世代を超えて交流を続けていくことを確認し、閉会としました。次回は2026年5月か6月くらいの開催を検討しています。ぜひ、多くの卒業生に参加していただきたいです。(文責 中山 照雄)



(文責 片田 慎弥)

大同窓会

70周年記念事業の 様々な企画

11月1日(土)

福祉大学祭@美浜キャンパス

毎年、美浜キャンパスで開催される福祉大学祭には、キャンパスと所縁の深い企画が行われました。美浜キャンパスに強い思い出のある団体は、この日に美浜キャンパスに集うことでお互いの絆を再確認しました。

11月2日(日)

東海キャンパスでの大同窓会のほかにも、同窓生が集うスペシャルな企画が展開しました。

美浜キャンパス

社会福祉学部ホームカミングデー

2027年度から東海キャンパスに移転する社会福祉学部では、主に美浜キャンパス世代の同窓生を対象としたホームカミングデーを福祉大学祭開催日に合わせて実施しました。在学生による今の美浜キャンパスを体感するキャンパスツアー、誰もが忘れられない「発達心理学」講義の近藤直子先生による再現、キャンパスの風景と一体化して耳に残る付属高校和太鼓部「楽鼓」の演奏、お世話になった恩師との交流会……。教職員と学生による手作りのプログラムは、参加した同窓生の懐かしい思い出を鮮烈に蘇らせ、忘れられない一日となりました。



美浜キャンパス

勢和寮美浜同窓会

青春時代を勢和寮での共同生活で過ごした勢和寮美浜同窓会の同窓生は、当時撮影された貴重な映像をベースに寮生活ドキュメンタリー動画(20分)と記念誌を作成。それを鑑賞し、それぞれにとっての寮生活をトークセッションで振り返りつつ、参加者はあの頃と今の繋がりや日本福祉大学で学んだことの価値を分かち合っていました。その夜、近くの亀の井ホテル(旧かんぼの宿)に宿泊したメンバーは、夜を徹して思い出を語り合いました。



2025年度の第73回福祉大学祭は学園創立70周年記念事業のもとで開催されることから、学園創立70周年と同窓会設立70周年の両記念事業コラボレーション企画が実現しました。内容は、障害者アートを就労支援に活かした障害福祉サービス事業所を運営する卒業生の原田啓之さん(1999年度社会福祉学部卒)と原田正樹学長によるスペシャルトークショー。福岡県内の高校生時代にはソフトテニスで全国優勝やインターハイ出場の実績を上げながらも、障害を持つ兄の影響から福祉を学ぶことを決意し、故郷を離れて本学に進学した原田さん。アルバイトを通じて、障害者の人たちが好きなこと・得意なことを追求すれば大きな可能性を秘めていることに気付いて、今のような事業・取り組みに繋がってきたことが原田学長とのトークで紹介されました。そしてその夢はまだまだ広がり続けていて、様々な場での発信によってより多くの賛同者が得られ、社会を変えていく力にもなっていることが伝わってきました。



スペシャルトークショーが終わった頃には陽も沈み、辺りは夜の静けさに包まれようとしていました。70周年記念事業の一環として、今回はこの時を待って懐かしのキャンプファイヤーを復活させる企画が用意されていました。しかしながら天気は下り坂に向かっており、知多地域同窓会による運営スタッフには焦りの表情が……。

開幕の儀式としてトーチ演舞が披露され、続いて同窓会の奈良会長・荒木副会長の「火の神コンビ」が点火を終えたところで、とうとう雨が降り出していました。それでもステージ上ではこの企画を盛り上げていただくために同窓生らで結成されたバンド「天福ブラザーズ」がスタンバイしており、数あるレパートリーから“とんぼ”“乾杯”の2曲を演奏していただいたところで苦渋の中止判断となりました。プログラムにはゲームや“ジェンカ”などのフォークダンスも予定されていましたが、実施することは叶いませんでした。それでも翌日には東海キャンパスでの大同窓会を控えていたこともあり、集まった同窓生たちは大同窓会に向けて気持ちを切り替えて解散しました。



1995年度に情報社会科学部とともに開設された半田キャンパスは、その30周年記念ホームカミングデーを大同窓会の独自企画と同じ11月2日(日)午後で開催しました。プログラムは、キャンパス開設から現在まで歴史の振り返りにもなる「情報社会科学部から工学部へ」と、健康学部リハビリテーション学科に設置された理学療法学・作業療法学・介護学の3専攻、合わせて4つの企画が同時に進行しました。

1 情報社会科学部から工学部へ(情報社会科学部・健康科学部福祉工学科合同企画)

佐々木葉先生、唐沢かおり先生、池田晶一先生、山羽和夫先生ら、情報社会科学部の初期から教壇に立たれた恩師に会場

いただき、学部教育を振り返りつつ今に繋がる意義や近況について語っていただきました。会場には100名近い同窓生が集まり、それぞれの思い出とともに聞き入っていました。



2 理学療法学専攻企画

基調講演『師資相承—先達からのメッセージ』では、伊藤猛雄名誉教授と浅井友詞教授が理学療法に携わる同窓生に向け、視点や心構えが説かれました。続く共催シンポジウムでは、坂野裕洋准教授と同窓生らがりカレント教育のあり方について語り合い、同窓生による研究会の強化を通じて学部教育・在学生支援へのフィードバックに繋げることなどの意見が交わされました。



3 作業療法学専攻企画

前半は『専攻やゼミの歴史、当時のゼミを振り返る』と題した講演と意見交換。山中武彦学部長、野間知一教授と同窓生が在学中の学びから専門職のキャリア形成への流れを振り返りつつ、参加者それぞれの様々な気付きに繋がるディスカッションが行われました。また、先生方と同窓生による和気あいあいとした座談会もあり、久しぶりの再会を楽しむ場となりました。



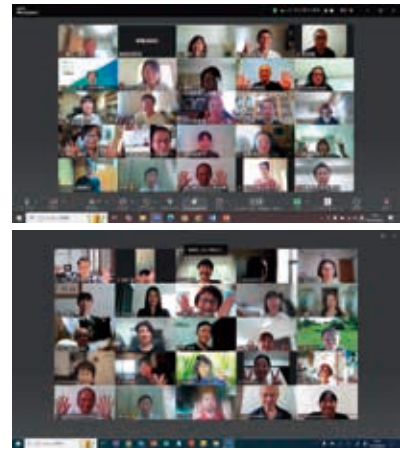
4 介護学専攻企画

前半では『卒業後のキャリア形成』をテーマに同窓生がシンポジウムを行い、それぞれが現場実践の積み重ねから管理業務に繋がるまでのキャリアパス等について議論を深めました。在学中の学びの価値や、介護の最先端への対応など、4年間学んだ意義が感じられる内容でした。また、退職された陳立行先生と樋口京子先生のミニ講演と間瀬敬子先生、北村眞弓先生からのメッセージ披露があり、介護学専攻同窓会の絆が深まる企画となりました。



オンライン交流会

11月に開催する大同窓会のプレ企画という位置付けで8月3日(日)に開催されたオンライン交流会は、通信教育部の恩師との交流を深める10のトークルームと、通信・通学課程卒業生とも参加可能で職種／職種の枠で交流する9のトークルームが用意されました(在学生の参加もあり)。各ルーム80分間で4~5時限のタイムテーブルが生まれ、複数の時間割に連続して参加した人も少なくありませんでした。全体で約400名(延べ)が参加し、どのルームでも「80分間が短く感じられた」「また機会があると嬉しい」といった感想が聞かれました。また、懐かしい思い出話や現場での実践・情報交換から「元気や気づきが得られ、リフレッシュできた」など、満足度の高い評価が9割を超えました。



クラブ・サークル思い出の写真アーカイブウェブサイトの公開

在学中の懐かしい思い出、諸活動の貴重な資料とも言える写真の数々を2024年度から募集し、ようやくアーカイブ写真を閲覧できるウェブサイトが公開されました。ページは10年ごとの区切りで構成され、それぞれの中で撮影年・投稿団体別に掲載されています。まだ掲載画像のない年もあり、今後も応募があれば掲載・更新していきます。サークル活動のかけがえのない思い出を分かち合う場として、ご参加ください。



詳しくはこちらから

アーカイブページ



<https://www.netfnu.ne.jp/alumni/70th/archive/memories/>

写真の応募フォーム



<https://qr1.jp/I3DG4N>

※写真の応募にはGoogleアカウントが必要です。

公示

2026年度日本福祉大学同窓会代表者会議について

◆代表者会議

- 開催日：2026年6月13日(土)
- 会場：サイプレスガーデンホテル
名古屋市熱田区金山町一丁目9-8
- 議事
1. 2025年度事業報告について
2. 2025年度収支決算について
3. 同窓会規程等の改定について
4. 2026年度事業方針・計画について
5. 2026年度収支予算について
6. 役員候補者推薦委員会の設置について
- その他 学園・大学近況報告、情報交換・懇親会

◆地域ブロック代表者会議

- 開催日：2026年6月14日(日)
 - 会場：日本福祉大学東海キャンパス(予定)
東海市大田町下浜田1071
 - 内容：同窓会事業方針・計画を踏まえた地域ブロック事業の取り組み、地域同窓会の活動状況についての協議など
- ※代表者会議は地域同窓会から代表者(代理可)含め2名、認定同窓会は1名の会場参加が可能。
※地域ブロック代表者会議は地域同窓会から代表者(代理可)含め2名の会場参加が可能。
※代表者会議・地域ブロック代表者会議はオンライン参加も可能です。
※6月13日のプログラム終了後、宿泊が必要な方には会場および近隣の宿泊先をご案内します。

同窓会カード入会キャンペーン当選者の発表

2024年度

- ・宮本 まや 様(大阪府) 通信教育部
- ・山田 邦明 様(新潟県) 通信教育部
- ・大場 光代 様(静岡県) 女子短期大学部
- ・K.Y 様(広島県) 通信教育部
- ・他1名

2025年度

- ・たみ 様(愛知県) 社会福祉学部
- ・阿部 壽美雄 様(茨城県) 通信教育部
- ・塩塚 啓史 様(福岡県) 社会福祉学部
- ・ガッポ 様(静岡県) 女子短期大学部
- ・他1名

共生社会の実現に向けたパラスポーツの教育的・研究的意義

— 車いすハンドボールにおける指導実践と研究活動を通して —

日本福祉大学 健康科学部 教授 大西 満

はじめに

近年、日本社会において「共生社会の実現」が重要な政策的・教育的課題として位置づけられている。とりわけ、障害の有無にかかわらず、相互理解と社会参加を促進する教育的実践として、パラスポーツの役割は年々大きくなっている。パラスポーツは、競技としての側面のみならず、他者理解、多様性尊重、協働性といった資質・能力面を育成するための教育的・社会的価値を有する実践領域として注目されている。

特に、学校教育や地域活動の中で実施されるパラスポーツ体験は、障害理解や多様性理解を「知識として学ぶ」段階から、「身体的・情動的に理解する」段階へと学習を深化させる可能性を持つ。また、競技レベルにおいても、選手の競技能力向上や心理的支援、指導体制の整備など、多角的な研究課題が存在しており、教育と研究が密接に結びついた分野である。

今回、車いすハンドボールを中心としたパラスポーツに関する指導実践報告・研究成果・調査結果等を踏まえ、「教育活動」と「研究活動」の両面からその意義と課題を整理し、今後の発展可能性について考察する。

教育活動

1. 体験型学習としてのパラスポーツの教育的意義

教育活動としてのパラスポーツの最大の特徴は、体験を通じた学習が可能である点にある。車いすハンドボールなどのパラスポーツ体験では、参加者が競技用車いすを実際に操作し、競技の難しさや面白さを実感することができる。車いすスポーツ体験会の実践報告によれば、参加者の満足度は非常に高く、全員が「満

足」と回答し、継続的な参加意欲を示していることが報告されている。これらの結果は、講義や映像資料による学習のみでは得られにくい「実感を伴う理解」が、パラスポーツ体験によって促進されることを示している。特に、「視線の高さが同じになる」「操作の難しさを体感する」「ルールや戦術の工夫に気づく」といった体験は、障害を「不便さ」として一方的に捉える視点から、「環境や工夫によって可能性が広がる」という認識への転換を促す。

2. 学校教育との接続可能性

中学校段階におけるパラスポーツ体験は、学習指導要領が示す「資質・能力」の育成とも強く関連している。具体的には、他者と協働する力、課題を解決しようとする態度、多様性を尊重する姿勢といった非認知的能力の育成に寄与する。体験会参加者から



三重県深谷小学校にて2年生に対する体験会

は、「健常者と障害者という区別を意識しなくなった」「一緒にスポーツを楽しめた」という声が多く聞かれ、これらは共生社会の理念を体感的に理解した成果といえる。

また、総合的な学習の時間や道徳教育との関連も大きい。パラスポーツ体験を起点として、障害の社会モデルや合理的配慮、バリアフリーの考え方を学習に発展させることが可能であり、教科横断的な教育活動としての展開が期待される。

3. 教育活動を支える環境整備の課題

一方で、教育活動としてパラスポーツを継続的に実施するためには、環境面での課題も多い。公共体育施設を対象とした調査では、競技用車いすの使用可否について即答できない施設が多数を占め、床材への影響や安全管理への懸念が示されている。

これは、施設管理者側に競技特性に関する知識が十分に共有されていないことを示している。この課題は、単なる施設側の問題ではなく、教育活動を社会全体で



福井県大飯中学校にて3年生に対する体験会

支える体制整備の問題と捉える必要がある。教育現場と行政、競技団体、研究機関が連携し、施設利用に関するガイドライン整備や研修の充実を図る必要がある。これらにより、パラスポーツを教育資源として活用する基盤が強化されると考えられる。

研究活動

1. 競技力向上と心理的側面に関する研究

研究活動においては、車いすハンドボール日本代表候補選手を対象とした調査研究が重要な知見を提供している。競技能力とスポーツ状態不安との関連を検討した研究では、試合直前の情緒不安や認知的不安が競技能力やクラス分けと関連していることが明らかになった。

この成果は、身体的トレーニングのみならず、心理的サポートを含めた包括的な指導の必要性を示唆している。特にパラスポーツにおいては、障害特性や競技環境の違いが心理状態に与える影響も大きく、教育的コーチングと心理支援を統合した指導モデルの構築が今後の研究課題にもなるだろう。

2. 国際大会派遣に関する実践研究

世界選手権大会への選手団派遣に関する実践報告では、日本におけるパラスポーツ支援体制の課題を具体的に示した。指導者や専門スタッフの不足、クラス分けに関する専門家不在、練習環境や宿泊施設の制約など、競技活動を支える基盤の脆弱さが明らかとなった。

これらの課題は、研究活動としても重要なテーマであり、人材育成、専門職教育、組織運営の在り方を含めた包括的な検討が求められる。特に、作業療法士や理学療法士などの専門職が競技支援に関与することで、安全性と競技力向上の両立が可能となる点は、教育研究の観点からも意義深い。

3. 教育評価への応用可能性

これらの研究成果は、競技力向上のみならず、教育



車いすハンドボール日本代表2024 選手及びスタッフ集合写真

活動への応用可能性も有している。心理的要因と競技パフォーマンスの関係を明らかにすることは、学校教育における自己理解や情動調整の学習にも示唆を与える。また、体験型学習の効果を客観的に測定する評価指標の開発は、教育研究として重要であり、教育活動と研究活動を往還させることで、実践に基づいた評価指標の開発が期待される。

おわりに

パラスポーツをめぐる教育及び研究活動は、体験的学習による教育効果、競技力向上を目指す科学研究、そして社会環境の整備という三つの側面が相互に関連しながら発展している。今回整理した実践報告や研究成果は、パラスポーツが単なる競技活動ではなく、共生社会を担う人材を育成する教育資源であることを示している。

今後は、学校教育現場における実践と、大学・研究機関による研究成果を循環させる仕組みを構築し、教育と研究が相互に補完し合う取り組みを進めることが求められる。そのためには、教育行政、研究者、専門職、競技団体が連携し、パラスポーツを軸とした教育・研究の体系化を進める必要がある。こうした取り組みを通じて、パラスポーツは教育及び研究の両面から、より一層社会に根付いたものとなるであろう。



日本福祉大学健康科学部
リハビリテーション学科 教授
大西 満 Mitsuru Onishi

■略歴

神戸大学大学院医学系研究科修了(保健学修士)
専門領域:小児リハビリテーション、子育て支援、パラスポーツ(車いすハンドボール)

■最近の業績

- ①日本パラスポーツ看護学会第7回学術集会
車椅子ハンドボール日本代表候補者の運動競技能力とスポーツ状態不安の関係
- ②第67回日本教育心理学会
教員だけでは支えきれない学生ニーズの多様化
～PS室との協働が生む学生支援の新たな可能性～
- ③第59回日本作業療法学会
車いすハンドボール日本代表選手のスポーツ特性不安とスポーツ状態不安の関係
- ④車いすハンドボール日本代表監督2024
3rd IHF Wheelchair Handball World Championship.2024 EGYPT 世界5位

第37回 日本福祉大学社会福祉セミナー in 鳥取 開催報告

2023年度から今年度まで続く学園創立70周年記念事業として、鳥取県米子市で開催された第37回日本福祉大学社会福祉セミナー in 鳥取。「とっとり×☆=自分らしさ」と題し、鳥取県出身で障がい福祉の父と称された糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」という言葉に着想を得て、多様性と自分らしさが尊重される現代、共生社会の実現に向けて本質を問う意欲に満ちたプログラムとなりました。

第1部・トークショーには地元の鳥取県伯耆町出身のタレント、イモトアヤコ氏をゲストに迎え「挑戦と多様性で切り開く世界」と題した対談が、元エフエム山陰アナウンサーの武田志乃さんと繰り広げられました。イモト氏はこれまでの芸能生活を振り返りながら「24時間テレビ 愛は地球を救う」出演を通じて出会い交流が続く障がいのある人たちのエピソードを紹介し、障がいや福祉について知り伝えていくことの大切さを語りました。そして福祉に携わる人たちへのエールとして、8,000m級の登山経験を踏まえて「いきなり頂上を目指すのではなく、一日一日の目標達成を積み重ねていくことがゴールへの近道」というメッセージを送り、トークショーを締めくくりました。

第2部は「地域とつながる私～生まれる自分発見 とっとりから～」と題したパネルディスカッションで、障がい者スポーツの世界で活動・活躍するパネリストのお話を、日本福祉大学スポーツ科学部の三井利仁教授がコーディネートしました。それぞれの実践活動によって記録や実績が生まれると同時に、地域にも様々な繋がりができることで地域全体の価値となり、共生社会の豊かさが築かれていくことが感じられる対話でした。

セミナーのオープニングイベントにはJAZZが盛んな米子市の

「よなごまちジャズプロジェクト」から、同窓生の金田浩子氏らによるクインテットが「この素晴らしい世界」などを演奏しました。また、会場のホワイエでは糸賀一雄氏の史料やバリアフリー美術の展示、ポッチャ体験コーナー、授産施設による販売などが用意されました。

開会の挨拶に立った鳥取県地域同窓会の濱本義則会長は「日本一の星空が見える鳥取の地で、人々が持つ多様性とその星のような輝きについて語り、それが福祉の未来を照らす光になることを願います」と話し、閉会の挨拶では竹内祇明副会長から、お互いを認め合い尊重する社会の価値・意義が感じられたセミナーになったことの謝意が伝えられました。最後に次回開催地を受け持つ北海道道南地域同窓会の檜森守副会長から、今セミナーの成果を継承し、次の開催地・函館市で再会しようと呼びかけがありました。



◆開催日時 2025年11月30日(日)12:45～16:30

◆会場 米子市文化ホール「メインホール」
(鳥取県米子市末広町)

◆参加者及び視聴者数

申込者数(会場)：240名 当日参加者：約275名

申込者数(Web)：116名 当日視聴者数：83名



リズムとハーモニーが絶妙なJAZZの演奏でセミナーは幕開け



会場を元気で一杯にしたイモトアヤコ氏



三井 利仁 教授/石丸 知氏/上野 柊斗氏/後藤 瑞希氏・後藤 幸子氏

【プログラム】

◆オープニング 同窓生たちによるJAZZ生演奏

よなごまちジャズプロジェクトバンド 「Chat with Chet」
「What a Wonderful World」「見上げてごらん夜の星を」の3曲

◆開会式 大学メッセージ

日本福祉大学 小松 理佐子 副学長
日本福祉大学同窓会 奈良 修三 会長
日本福祉大学鳥取県地域同窓会 濱本 義則 会長

◆第1部 トークショー

「挑戦と多様性で切り開く世界」
イモトアヤコ氏 ワタナベエンターテインメント所属

◆第2部 パネルディスカッション

「地域とつながる私～生まれる自分発見 とっとりから～」
●ファシリテーター 三井 利仁 氏 日本福祉大学 教授
●パネリスト
石丸 知 氏 メディカルフィットネスセンター-CHAX 課長

上野 柊斗 氏 米子サン・アビリティーズ 中級バラスポーツ指導員
後藤 瑞希 氏 日本福祉大学福祉経営学部(通信教育)在学生

●オブザーバー
後藤 幸子 氏 鳥取県ポッチャ協会 BC3ランプオペレーター

◆閉会式

日本福祉大学鳥取県地域同窓会 竹内 祇明 副会長
日本福祉大学北海道道南地域同窓会 檜森 守 副会長

◆ホワイエ 展示・出店企画

・鳥取県立バリアフリー美術館 レプリカ作品展示
・糸賀 一雄 史料展示
・メディカルフィットネスセンター-CHAX/鳥取県立皆生養護学校 皆生 Springs ポッチャ体験コーナー
・特定非営利活動法人 あおぞら 福祉のお店
・社会福祉法人尚人福祉会 江美の郷 福祉のお店
・特定非営利活動法人 鳥取県障がい者就労事業振興センター 情報提供コーナー

2026年度(第38回) 日本福祉大学社会福祉 セミナー in 函館のご案内

◆日時 2026年11月14日(土)

◆会場 函館湯の川温泉 花びしホテル

※プログラム、詳細については次号(8月発行)にてご案内します。

【日本福祉大学社会福祉学会について】

日本福祉大学社会福祉学会(通称:学内学会)は、日本福祉大学の卒業生をはじめ、教職員や現役学生を中心に(もちろん学外の方も入会できます!)、大会やセミナーなどの各種企画、学会誌「福祉研究」の発行・編集等を行っている日本福祉大学公認の自主的な研究団体です。1968年に発足し、2023年に設立55周年を迎えました。活動を通して、社会福祉現場の実践課題をもとに、現場で直面している問題や悩み、社会問題などを取り上げ共有し、より良い実践を目指しています。そんな学内学会に参加し、一緒に活動を盛り上げていきませんか?

入会後は、会員として大会やセミナーへの参加・報告、福祉研究への投稿等で全国の会員と交流することができます。様々な現場で働く仲間や教職員と交流を深めることで専門分野はもちろんのこと、それ以外の分野も知ることで世界が広がり、より多面的な視野を持つことができます。

また、併せて学会の運営(大会やセミナーの企画、会報の作成、福祉研究の発行等)を担う運営委員・全国委員も募集しています。メーリングリストの活用等により、遠方に住んでいる方でも、学会運営に携わっていただけます。興味をお持ちになりましたら、学会事務局までメールにてご連絡ください。皆さまのご参加お待ちしております。

【福祉研究(118号)のご紹介】

学内学会機関誌『福祉研究』は、学内学会が1968年に発足して以来、2025年までに118号を数えるまでになりました。この55年あまりの歴史の中で、それぞれの時代の社会福祉の諸課題へ挑戦した同窓生会員の熱い息吹が感じられる玉稿が生まれました。また、岡村重夫、一番ヶ瀬康子、真田是、浅賀ふさ、浦辺史、窪田暁子、児島美都子、大泉博、竹中哲夫、秦安雄、高島進、宮田和明、小川政亮、坂寄俊雄、大友信勝、笛木俊一、大野勇夫、生江明、木戸利秋といった日本福祉大学を支えた内外の教授陣からも多数の論考を発表しています。

最新の118号は、「日本福祉大学で学んだこと～社会福祉実践にどう活かすか～」をテーマに開催された学内学会第54回大会(2023年9月)の大会報告として鼎談、基礎講座の講師による書き下ろしに加え特別寄稿からなる特集記事、そして会員からの投稿論文を収録しています。ぜひ読んでいただき、本学会員の実践や研究に役立てていただけることを願っています。

「福祉研究」は前116号より創英社を通じて生まれ変わり、Amazonを通じて販売しております。



【第56回大会の報告】

2025年9月27日(土)、日本福祉大学名古屋キャンパスにおいて第56回大会をハイブリッド形式で開催しました。大会テーマは「社会福祉労働と実践 一当事者と実践者の人権をどう保障するのか?～」とし、福祉現場における利用者と職員双方の人権保障、持続可能な労働環境を護る労働組合の役割等について考察するプログラムで実施しました。

堀場純矢氏(日本福祉大学)による基調講演「社会福祉労働と児童養護施設・利用者・支援者双方の人権保障のために」では、児童養護施設が職員の自己犠牲によって成り立ち、人材確保や育成を阻んでいる現状に言及。労働組合の役割にも触れながら、職員の人権を保障し労働環境が整うことで支援の質を高める流れを訴えました。

続いて「社会福祉労働と実践」をテーマとしたシンポジウムでは、児童養護施設、障害者支援施設、労働組合運営での経験を持つ3人のシンポジストが登壇し、様々な労働環境の問題を抱える現場の状況が報告され、労働組合の組織率低下により改善・解決が難しい側面も明らかになりました。その一方で職員の安心感や主体性を引き出すための取り組み、職場の仕組みの工夫などについての報告もあり、改善に向けた知見も得られる内容でした。

榎府憲太氏(高崎健康福祉大学)による社会福祉基礎講座は「生活保護の今とこれから～制度と実践の両面から考える～」と題し、生活保護行政の様々な問題・課題の事例が取り上げられました。それを踏まえて利用者本位の制度運用、住民福祉の増進を重視したサービスの実践を強調する内容でした。

第57回大会開催に向けては運営委員会・全国委員会でも内容を検討中です。開催日時や詳細が決まりましたら学内学会ホームページにて周知させていただきます。また、日ごろの実践報告を大会の中で行いたいという方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。

問い合わせ先・入会申し込み先

日本福祉大学社会福祉学会(学内学会)事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学内

●ホームページ: <https://sites.google.com/view/nfu-ssw/>

●メール: gakkai@n-fukushi.ac.jp ●FAX: 0569-87-1690



ホームページ

大学近況

「Well-being for All」実現に向け スタートアップセンターが開設されました



「Well-being for All」を掲げ社会実装型キャンパス創造に取り組む日本福祉大学は2025年度、産官学連携事業推進や研究成果の発信などを目的に「スタートアップセンター」を開設しました。その活動拠点は、愛知県が名古屋市の鶴舞



公園南側に設置した日本最大級のオープンノベーション施設・STATION Aiに置かれ、産官学連携の取り組みを円滑・効率的に進められる体制も確保しています。これまでに以下の取り組みをはじめとした諸事業に着手しています。

開設記念イベント「Inspire & Activate～未来へのチャレンジ～」の開催

2026年秋に愛知県および名古屋市で開催されるスポーツ競技会に向け、その機運を高める目的でトークショーとパラスポーツ体験会で実施。トークショーには本学客員教授でスポーツ庁長官の河合純一先生、日本パラ陸上競技連盟会長の増田明美さん、本学卒業生で陸上競技やり投げ選手の高橋峻也さん、名古屋グランパスOBで元日本代表の阿部翔平さんの4名が登壇し、スポーツの持つ力と未来への希望と期待について熱く語り合われました。また、パラスポーツ体験会ではパラフェンシング、ボッチャ、ブラインドフットボールなどの機会が用意され、多様な参加者がパラスポーツにチャレンジできたイベントになりました。

この企画は本学の有志学生らによって実行委員会が結成・運営され、トヨタ自動車株式会社等の協力も得て開催することができました。

第52回国際福祉機器展&フォーラム(H.C.R.2025)への学生参加

ヤマハ発動機株式会社との相互交流がスタートしました。

全国社会福祉協議会主催、東京ビッグサイトを会場に414社が出展し、会期3日間に延べ12万人を超える来場者を記録したイベントにおいて、電動車椅子の展示を手掛けるヤマハ発動機株式会社のブースアシスタントとして本学の学生5人が参加しました。

ヤマハ発動機株式会社による事前の学習会を経たこともあって役割を果たすことができたほか、学生が取り組む今後の目標や気づきを得たこと、福祉機器や産業の最先端かつ多様な情報に接することができたことなど、刺激的で有意義な経験となりました。



農福連携研究チームの発足と始動



農業と福祉、それぞれが抱える課題を連携によってお互いが乗り越えていこうという、持続可能な未来を築くための取り組みが始まりました。

日本福祉大学の提携法人でもある社会福祉法人昭徳会とのプロジェクトでは、農業や山林の獣害が深刻な愛知県豊田市郊外で対策に向けた連携が進んでいます。直面する農業課題への取り組みを通じて、より幅広い地域課題解決にも対応・貢献していこうというものです。

日本福祉大学のキャンパスがある愛知県の知多地域で、障害者就労支援等の農福連携を実践している社会福祉法人むそうと開催した懇談会では、農業の課題、事業を展開する上での課題、農業高校など教育分野との連携の可能性など、多くの視点から議論が深まり、本学の農福連携研究チームにとっても意義深い内容でした。

研究の深化と進化～進められる多様な取り組み

2026年3月11日(水)には、福祉テクノロジーによるケアのスマート化、自分らしい暮らしを支える技術の開発・導入について考える共同フォーラムを、国立長寿医療研究センターの協力を得て開催しました。

また、日本福祉大学の教員が、それぞれの研究テーマについてオープンに語る「ふくし研究サロン」は、より参加のアクセシビリティと発信力を高める目的も携えて「新・ふくし研究サロン」としてSTATION Aiで開催しています。こうした取り組みにより、新たな連携や情報の交流が進み、社会実装型の大学づくりが深まることが期待されます。

大学近況

第3回日本福祉大学マリンカップ(能登復興支援大会)を開催

2024年1月に第1回目が開催された中学生女子バスケットボールの交流戦イベントは、2026年1月24日・25日の2日間、日本福祉大学美浜キャンパスのSALTO(複合型スポーツ施設)において第3回目が行われ、地元の南知多中学・河和中学の合同チームをはじめ、県内外から全12の中学生チームが参加しました。参加チームには能登半島地震被災地で活動する能登ネクストや、全国大会で活躍するチームも含まれていました。

この交流大会は昨年に引き続いて能登復興支援イベントとして企画され、被災地の復興に向けた取り組みや経過を示す掲示や支援募金活動も行われました。日本福祉大学女子バスケットボール部が第1回目から大会運営サポートに携わっています。開催主旨には「技術向上や心身の成長を目指す」「子どもたちが参加を通じて地域とともに元気になる」「能登半島のチームとの試合を通じて広範囲な交流や学びの機会を持ち、被災地を応援する気持ちや防災意識を醸成する」といった内容が掲げられ、中学生と本学の学生それぞれにとって楽しく、意義のあるイベントとして続いています。



引き続き応援のほどよろしくお願いいたします！ 特別強化指定部・強化支援部の活躍

部活動名		大会名	結果	備考
陸上競技部	団体	第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 女子団体	総合3位	
		東海学生陸上競技夏季選手権大会 4×100mリレー	5位	
		第52回東海学生陸上競技秋季選手権大会 4×100mリレー	5位	
	林 愛望	ワールドトライアスロンU23世界選手権(2025/ウーロンゴン)	4位入賞	学長表彰
		第31回日本トライアスロン選手権(2025/東京・台場)	優勝	
		アジアトライアスロン選手権(2025/イスタンブール)	準優勝	
		アジアトライアスロンカップ(2025/大阪城)	優勝	
		第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 女子5000m	優勝	
	林 彩夢	アジアトライアスロンジュニアU23選手権	優勝	学長表彰
		第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 女子1500m	1位	
		第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 女子800m	2位	
	北村 栄敏	第91回東海学生陸上競技対校選手権大会	総合3位	
		第52回東海学生陸上競技秋季選手権大会	総合2位	
		第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会	出場	
小川 心優	第52回東海学生陸上競技秋季選手権大会 400m	3位		
	第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 400mh	8位		
	第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会	出場		
長井 彩華	第91回東海学生陸上競技対校選手権大会 10000m	3位		
	2024全日本大学女子選抜駅伝競走	補欠		
		東海学生陸上夏季大会2025 1500m	3位	
水泳部	岡島 貴太	(WPS主催)パラ水泳ワールドシリーズ富士・静岡 兼 2025年度日本代表選手選考競技会 4×100mメドレーリレー	優勝	学長表彰
		JPSA設立60周年記念 World Para Swimming公認2025 ジャパンパラ水泳競技大会 50m自由形	優勝	
		同上 100m背泳ぎ	優勝	
		同上 200m個人メドレー	2位	
		同上 100mバタフライ	3位	
	井戸 夢翔	第41回 日本パラ水泳選手権大会 50m背泳ぎ	優勝	学長表彰
		JPSA設立60周年記念 World Para Swimming公認2025 ジャパンパラ水泳競技大会 50m自由形	優勝	
		同上 個人メドレー	2位	
		(WPS主催)パラ水泳ワールドシリーズ富士・静岡 兼 2025年度日本代表選手選考競技会 100m背泳ぎ	23位	
		同上 200m個人メドレー	29位	
	団体	第101回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mフリーリレー	35位	
		第101回日本学生選手権水泳競技大会 4×200mフリーリレー	26位	
		2025年度中部学生選手権水泳競技大会 女子総合成績	5位	
	沖 菀花	第101回日本学生選手権水泳競技大会 400m個人メドレー	20位	
第101回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー		31位		
上田 唯愛	第101回日本学生選手権水泳競技大会 100m背泳ぎ	50位		
女子バスケットボール部	団体	第96回東海学生バスケットボールリーグ戦 1部	3位	
	和田 実菜	第63回東海学生バスケットボール大会	3位	
	平野 雅姬	東海学生バスケットボール連盟に4年間所属し、競技大会運営や強化活動に従事。2024年度は競技部部長、男女強化部部長として運営体制を整え、2025年度は学生委員長として全体の調整・意思決定を担う。また、愛知県協会・JBA・日学との協働事業にも積極的に参画し、学生組織として外部団体と連携しながら、東海地区バスケットボール界の発展に貢献。	リバウンド王	
男子バスケットボール部	伊藤 稔基	第96回東海学生バスケットボールリーグ戦 2部リーグ 同上	得点王 優秀選手賞	
1部バドミントン部	団体	第141回東海大学バドミントン選手権大会 1部リーグ	男子優勝・女子準優勝	
		第142回東海大学バドミントン選手権大会 1部リーグ	男子優勝・女子準優勝	
		第74回中部大学バドミントン選手権大会 男子団体・女子団体	ともにベスト8	
	田中 悠翔	第73回愛知学生バドミントン選手権大会	優勝	
		第47回東海学生新人バドミントン選手権大会 ダブルス	4位入賞	
	竹内 駿介	第47回東海学生新人バドミントン選手権大会 男子シングルス	優勝	
		令和7年度文部科学大臣杯争奪第76回全日本学生バドミントン選手権大会	ベスト32	
	前田 流音	第65回西日本学生バドミントン選手権大会	ベスト16	
第73回中部学生バドミントン選手権大会		優勝		
硬式テニス部	丹羽 菜づ名	2025年全国日本学生テニス選手権大会 シングルス・ダブルス	本戦出場	
		2025年全国日本学生テニス選手権大会 ダブルス	本戦出場	
	大西 萌那	2025年全国日本学生テニス選手権大会	予選決勝進出	
		令和7年度第75回東海学生春季テニス選手権大会 本選	ベスト16	
男子ソフトボール部	団体	文部科学大臣杯第60回全日本大学男子ソフトボール選手権大会	出場(予選敗退)	
		2025年度第96回東海地区大学(男子)ソフトボール秋季リーグ戦	プリンススポーツベストプレイヤー	
	鈴木 健心	中京テレビ杯2025年度春季第95回東海地区大学ソフトボールリーグ戦(男子)	1部プリンススポーツベストテン(三塁手)	
	古田 拓人	中京テレビ杯2025年度春季第95回東海地区大学ソフトボールリーグ戦(男子)	1部プリンススポーツベストテン(外野手)	
女子ソフトボール部	団体	文部科学大臣杯第60回全日本大学女子ソフトボール選手権大会	ベスト16	
		第19回熊野市長杯大学女子ソフトボール大会	準優勝	
		The 3rd TOKAI Area College Softball Championship 兼 第60回全日本大学ソフトボール選手権大会 最終予選会	優勝	
アーチェリー部	団体	全日本学生アーチェリー王座決定戦	ベスト16	
ラグビー部	団体	東海学生ラグビーリーグ リーグ戦	5位	
準硬式野球部	団体	清瀬杯第57回全日本大学選抜準硬式野球大会	ベスト8	
につづくSDGs部	団体	地域のゴミ拾いをする団体とコラボしながらゴミ拾いをして、環境美化や環境保護に貢献		

サークル紹介

日本福祉大学学生生活

● 鳴子踊りサークル夢人党

鳴子踊りサークル夢人党です!

私たちは、よさこい鳴子踊りを通して、さまざまなお祭りやイベントでの演舞や、ボランティア活動に取り組んでいます!

チーム目標は「日本一夢を与え続けるチーム」です!!この目標のもと、見る人の心を動かし、笑顔や元気を届けられる演舞を目指して、日々練習を重ねています!

主な活動としては、毎年8月末に名古屋市で開催される「にっぽんど真ん中祭り」をはじめ、12月に岐阜県瑞浪市で開催される「バサラカーニバル」など、各地のイベントに参加しています。

また、こうした大きな祭りだけでなく、福祉施設や地域のお祭りなどにもお招きいただき、見てくださる方々との交流を大切にしながら演舞を披露しています。

昔の時よりも人数はだいぶ少なくなりましたが、今でも元気に活動しています!ぜひ、OB・OGの皆さま遊びに来てください!!



大学祭について

日本福祉大学 学生課

2025年度、本学では美浜・半田・東海の3キャンパスで大学祭を開催しました。

11月1日の美浜キャンパス第73回福祉大学祭では、「Timeless Echo」をテーマにゲスト企画やスポーツ教室、模擬店など多様な企画が展開されました。当日はホームカミングデーも併催され、約260名の同窓生の皆さまにもご参加いただきました。来場者数は昨年度を上回る約2,500名となり、大いに盛況を博しました。

7月5日の半田キャンパス七夕祭では、工学部新設に合わせて「改築」をテーマに、学生が一丸となってステージ企画や模擬店、展示・体験企画を実施しました。地域の子どもたちやご家族連れなど、約500名の方にご来場いただき、楽しむ姿が多く見られました。

11月29日の東海キャンパス「にゃんぶくフェスティバル」は、東海キャンパス開設10周年記念事業として開催されました。「カラフル」をテーマに、地域団体との連携企画やゲスト企画を実施し、約650名の幅広い世代の方々にご来場いただきました。

地域の方々や同窓生の皆さまとの繋がりを改めて実感する大学祭となりました。次回開催の際には、是非各キャンパスへ足をお運びください。



美浜大学祭



半田大学祭



東海大学祭



同窓生リレーずいそう

最初の卒業生が誕生してから71年…10万人を超える同窓会員が全国津々浦々で活躍されています。卒業後、学生時代に仲が良かった友人や先輩・後輩と連絡が取れなくなってしまったご経験もあるかと思います。本企画は各所属毎に現在の状況や思いをリレー方式で繋げていくことで、点を線で結びつけるものです。ひょっとしたらこれがきっかけで、ご友人と再会できるかもしれませんね。

社会福祉学部



社会福祉学部 2011年3月卒業
松延 美緒 ★ 愛知県在住

日々精進

高校生のころ、将来どういった仕事につきたいか考えるため進路室にあったお仕事ブックを見ていた時に医療ソーシャルワーカーという仕事を知り、お医者さんじゃないのに白衣を着て仕事をしていて、なんかカッコいい!と安易な理由で、社会福祉士の資格取得を目指し日本福祉大学に入学しました。

在学時は実家から片道1時間30分かけて電車で美浜キャンパスまで通っていましたが、大学で知り合った友人とおしゃべりしていればあっという間でした。しかし、早起きは必須だったため、講義では寝てしまうこともしばしば……。社会人になった今、大学生活を思い返すと、もう少しきちんと講義を聞くべきだったなと後悔している部分もあります。

卒業後は、医療ソーシャルワーカーとして回復期リハビリテーション病院に勤務しています。スタッフは全員ボロシャツ・パンツがユニホームの病院なため、念願だった白衣は着れませんが、日本福祉大学で学んだ福祉の精神を胸に、患者様の社会復帰を支援するため、これからも日々精進していきます。

▶ 次回は、久野 愛子さんにバトンタッチします。

女子短期大学部



女子短期大学部 1990年3月卒業
宮崎県立日向高等学校卒
古賀 明美 ★ 宮崎県在住

最高の教育に感謝

障害児の保育がしたい、まだ療育という言葉もない昔に、その思いがあり近所の高校の先生でもあるお姉ちゃんに勧められて入学したのが日福でした。卒業して地元に戻り療育をしていた頃出逢ったのが「さくら、さくらんぼのリズム遊び、斎藤公子先生の保育」でした。日福で習った事がある、友達がゼミに入っていた、そんなことを思い出しながら、ひたすら学び続け、気がつけば我が子の為に保育園を創っていました。今は認定こども園と療育のデイサービスとを向かい合わせで日福出身の旦那と経営しています。

保育を探求し続け、子どもの発達を学び、子ども理解を深めていく度に感謝があふれてくるのは、本当に素晴らしい先生方に囲まれて勉強させてもらった大学時代だったってこと。そしてその環境があたり前ではないことを卒業してから今日までひしひしと感じています。子ども観の基礎を築いてくださった日福に心から感謝しています。ありがとうございます。

▶ 次回は、田部 里美さんにバトンタッチします。

経済学部



経済学部 1992年3月卒業
京都府立西舞鶴高等学校卒
山本 まなみ ★ 大阪府在住

かけがえのない時を過ごした寮生活

私の4年間の大学生活は、そのまま4年間を過ごした寮生活でもありました。寮では、家族以外の人たちと共に生活をし、深く関わり、深くかかわるが故の嫌なことも楽しいことも経験し、その後の私の人生に大きく影響しました。人を知り、人を好きになった4年間だったと思います。また先日開催された同窓会設立70周年勢和寮企画のトークセッションでは、寮の歴史と共に、寮が果たした役割や与えた影響などを言語化し再認識させてくれました。単に同じ時を過ごした仲間との懐かしい思い出と言うだけではなく、これから生きていく中で、あの時を共に過ごした仲間がいるから、あの記憶があるから成し得ることがあるのだと、そう感じさせてくれました。

今、私は、気づけば子育てで支援や不登校支援など、人間相手の仕事をしています。これもあの4年間があったからでしょう。今まで出会ってくれたみんなに感謝し、これからも繋がりを大切にしていきたいと思っています。

▶ 次回は、市川 邦彦さんにバトンタッチします。

情報社会科学部



情報社会科学部 2007年3月卒業
歸山 友香 ★ 愛知県在住

人とのつながりを大切に

大学時代の4年間は、サークル活動やアルバイト、友人との旅行など、忙しくも充実した日々でした。楽しいことだけでなく、悩みや迷いを経験する中で、人と関わることの難しさと温かさを学びました。卒業から20年経った今でも、定期的に連絡を取り合い、相談や励まし合いができる友人の存在を心強く感じています。卒業後は特別養護老人ホームに勤務し、介護福祉士の資格を取得しました。さらに利用者の方一人ひとりを、より専門的な知識と視点をもって支援したいと考えるようになり、介護支援専門員の資格も取得しました。ケアマネジャーとしては、現場で培った経験を生かし、多職種と連携しながら、利用者の方やご家族の声を大切にされたケアプランの作成を心がけてきました。現在は子育てのため休職していますが、復職後はこれまでの経験を生かし、知識や視野をさらに広げながら、支援の質を高められるよう成長していきたいです。

▶ 次回は、崎瀬 直博さんにバトンタッチします。

福祉経営学部



福祉経営学部 2009年3月卒業
岐阜県立益田高等学校卒
東浦 匡志 ★ 岐阜県在住

私にとっての日福とこれから

私が、脳性麻痺を持って生まれた事で、母親が私に『本当の福祉を学ばせたい』との思いがあり、中学の頃から日福への入学を目標としてきました。日福に入学当初は、初めての一人暮らしや福祉経営学部で障がいを持った学生が私だけだった事もあり、不安な日々でした。その不安を解消してくれたのは友人達でした。友人達は私を障がいの有無に関係なく、一人の仲間として接してくれました。このため思い出多き学生生活を過ごせたと思っています。この一生の友人達との出会いは、私にはかけがえのないものであり、友人達に感謝するとともに、日福で学べて良かったと実感しています。友人達とは現在もつながっており、大切にしていきたいと思っています。

そして、友人達や周りの人達からの励ましもあり、目標としていた社会福祉士に令和7年に合格しました。今後は自分の経験に加えて日福で学んだ事や取得した資格を生かし、自分同様に障がいを持たれた方など福祉を必要とされている方々の役に立てるような人になっていけたらと思っています。

▶ 次回は、覚野 真平さんにバトンタッチします。

通信教育部 福祉経営学部



通信教育部福祉経営学部 2016年3月卒業
奈良県立耳成高等学校卒
竹内 恵美 ★ 大阪府在住

仲間とつながる場所

11月2日、大同窓会のシンポジウムの1つに参加しました。その時、シンポジストが話していた「誰と学ぶか」はとても心に残っています。昔の私は、すぐに自分を責めてしまい、物事を否定的に考えてしまうことが多くありました。誰にも頼らず、何とか、「負けず嫌い」だけで乗り切ってきたのですが、やはりとても疲れ、人間不信になってしまうこともありました。大学に入学したそもそものきっかけは、社会福祉士取得でしたが、4年間の学びを補完する同窓会が、同じ志をもった仲間とつながる場所となり、今では、私の生活の一部となっています。教授や講師の方々を通じて、仲間とつながり、科学的根拠をもって、仕事に燃え尽きない学びができる「この場所」を、これからも大切にしていきたいです。

▶ 次回は、上村 悦子さんにバトンタッチします。

大学院



国際社会開発研究科 2025年修了
滋賀県立石山高等学校卒
岩吹 綾子 ★ 滋賀県在住

大学院で学んだ多様性の多様さ

大学院に入学した2022年、私はアフリカのスーダンに住んでいました。開発学を体系的に学ぶ経験がないまま現場で働いていましたが、日本とは異なる文化や価値観の中で、不感を過ぎてもお迷い続けていました。そんな中、スーダンからでも学べる通信制の仕組みに支えられ、迷いの多い日々にも少しでも道筋を見出し、現地の人びとにとってより良い事業につながればと考え、入学しました。

これまで暮らしてきた日本、エジプト、ザンビア、スーダンでも多様性を感じてきましたが、大学院ではこれまで出会ったことのない多様性に触れる機会がありました。異なる背景をもつ先生方や院生の方々との議論では、それまでの思い込みや信じていた前提が揺さぶられ、「多様性にも多様さがある」ことを実感しました。この学びを礎に、これからも様々な背景をもつ人びとと対話を続けながら、多様な価値観が共に息づく社会について、丁寧に考えていきたいと思っています。

▶ 次回は、西木 まゆみさんにバトンタッチします。

健康科学部



健康科学部 2017年3月卒業
小出 菜子美 ★東京都在住

自分らしく挑戦を重ねて

高校時代は新体操に打ち込み、全国大会で優勝するなど充実した日々を過ごしました。怪我で整形外科に通ったことをきっかけに理学療法士を志し、日本福祉大学へ進学しました。スポーツ一筋だったため専門的な学びには苦戦しましたが、同期や先輩方に支えられ、無事に卒業することができました。その後は整形外科に就職しましたが、医療以外の分野にも関心があり、自分のやりたいことに挑戦したいと転職を決意しました。

せっかく国家資格を取得したのに勿体ないと反対も受けましたが、思い切って美容業界に飛び込み、ネイリストを経てスクール運営会社で営業職を経験しました。営業では大学・理学療法士時代に培った"人に寄り添う力"を生かして全社でも上位の売上実績を収め、後輩育成にも携わりました。現在は同会社の完全子会社である美容特化型人材紹介会社の立ち上げに従事し、美容業界で働きたい方とサロンをつなぐ役割を担っています。大学での学びとは異なる道ですが、これからも自分らしく挑戦を重ねていきたいです。

▶ 次回は、墨田 智紀さんにバトンタッチします。

子ども発達学部



子ども発達学部 2019年3月卒業
三重県立四日市西高等学校卒
小東 桃菜 ★三重県在住

大切な出会い

中学校の頃に子どもに関わる仕事をしたいと思い、そこから気持ちは変わりませんでした。大学の生活では保育士になるために座学はもちろん、造形や苦手なピアノも全力で取り組みました。授業だけではなく、吹奏楽のサークル、アルバイト、遊びと充実した日々でした。どの場面においても、一緒に頑張ってくれたり、助けてくれたりする仲間がいてくれ、時にはぶつかり悩むこともありましたが、私はいつも周りに恵まれて幸せだなと思っていました。

大学を卒業して6年半。卒業後は児童心理療施設で働いています。当たり前ですが知り合いはいない状態からのスタート。入社してすぐの頃は大学生活が恋しかったです。働き始めると教科書には載っていないような日々の連続でしたが、周りのみんなも頑張っているんだと思い、私も働き続けました。職場でも助け合える仲間に出会えました。

今まで出会った友人、先輩後輩、同僚には感謝の気持ちでいっぱいです。私もそう思ってもらえるように周りの方を大切にしていきたいです。

▶ 次回は、中川 健太郎さんにバトンタッチします。

国際福祉開発学部



国際福祉開発学部 2014年3月卒業
石嶺 琴実 ★沖縄県在住

人を繋ぐ仕事に携わって

学生時代、フィールドワークで訪れたマレーシアにおいて日本製品の流通を目の当たりにし、人と物を繋ぐ物流の重要性を強く実感いたしました。この経験をきっかけに地元の物流会社へ入社し、人と物を結ぶ業務に従事いたしました。現場では多くの方々と関わる中で、異なる価値観を尊重しながら調整を進める難しさと、その中で得られる大きなやりがいを学ぶことができました。その後、MICE業界に携わる企業へ転職し、医学会や展示会の運営、さらにはG7広島サミットの業務に従事する機会を得るなど、より幅広い経験を積んでまいりました。

現在は県内の大型MICE施設を運営する部署に所属し、施設と人を繋ぐ業務を担当しております。また、テーマパーク施設においてはアトラクション運営に関わる人材管理も担っております。学生時代に芽生えた「人を繋ぐ」という想いは、現在も変わらず私の仕事の原動力となっております。

▶ 次回は、塗師 悠さんにバトンタッチします。

看護学部



看護学部 2022年3月卒業
石川 美紅 ★愛知県在住

看護師として今思うこと

大学生活を振り返ると、3年生はコロナ期でほとんど登校することはなくZoomでのオンライン授業でした。実習も延期や短縮などかなりコロナの影響を受けた世代だと思えます。就職活動では学部長の白尾先生に大変お世話になりました。いろいろありましたが、大学生活の4年間は看護師として働く上でとても必要な時間だったと思います。

現在は総合内科と夜間救急の病棟で働き4年目になりました。夜間帯での入院はほとんど自身の病棟に入院になるため、夜勤でも毎回慌ただしい日々を送っています。

この病棟で勤務しているおかげでさまざまな疾患の患者さんを受け持つことができます。今年度からは夜勤リーダーも始まりました。まだまだ知識不足・経験不足と感ずることも多くありますが日本福祉大学で学んだことを活かして、これからも看護師として成長していけるよう努力したいと思っています。

▶ 次回は、近藤 麻友さんにバトンタッチします。

絆をさらに強めて 災害復興へ

能登半島地震・能登半島豪雨による 同窓生被災者へのお見舞いとご協力のお礼

2024年1月1日に発生した能登半島地震および同年9月21日から23日にかけて発生した豪雨により被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。2024・2025年度の同窓会による同窓生被災者への支援は、29件・1,110,000円の実施となりました。同窓会災害救援事業・募金規則に基づき実施しているお見舞いにつきまして、下記の通り報告いたします。また、救援募金にご協力いただいた同窓生の皆さまには心よりお礼申し上げます。

■被災者支援(お見舞い)実施状況

能登半島地震・能登半島豪雨による自宅の一部損壊(1件20,000円)	18	360,000円
能登半島地震による一時転居(1ヶ月)(1件50,000円)	1	50,000円
能登半島地震による自宅の半損壊(1件50,000円)	4	200,000円
能登半島地震による自宅の全損壊(1件100,000円)	4	400,000円
能登半島豪雨による自宅の床上浸水(1件50,000円)	2	100,000円
合計	29	1,110,000円

■被災状況のご連絡

被災状況の集約とそれに基づくお見舞いは引き続き実施いたします。被災された同窓生の方、また同窓生の被災についてご存じの方は、こちらの2次元コードから登録フォームにアクセスいただき、ご入力をお願いいたします。



■救援募金

お寄せいただきました募金は、日本福祉大学同窓会「災害救援事業・募金規則」に基づき、被災された同窓生の方々への見舞金(自宅:全損壊10万円、半損壊・1ヶ月以上の避難もしくは転居5万円、一部損壊2万円など)と、日本福祉大学災害ボランティアセンターの活動支援などに充てさせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

救援募金振込先

銀行名・支店名で振込

[都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など]

- 銀行名 ゆうちょ銀行
- 支店名 ○八九(ゼロハチキユウ)
- 種別 当座
- 口座番号 0071311
- 口座名義 日本福祉大学同窓会

記号・番号で振込

[ゆうちょ銀行のみ]

- 記号 00850
- 番号 71311
- 口座名義 日本福祉大学同窓会

※お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。
※団体の場合は、団体名を必ず入力してください。

訃報 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

生江 明先生 元日本福祉大学教員/2025年10月ご逝去
水谷 伸治郎先生 元日本福祉大学教員/2025年11月ご逝去
今井 証三先生 元日本福祉大学教員/2025年12月ご逝去
小木 美代子先生 元日本福祉大学教員/2026年2月ご逝去
大橋 威朗さん 1955年中部社会事業短大/2024年11月ご逝去
杉本 侑子さん 1958年中部社会事業短大/2025年12月ご逝去
杉原 由子さん 1970年女子短期大学部/2025年5月ご逝去

中谷 利子さん 1970年女子短期大学部/2025年5月ご逝去
岡田 史さん 1975年社会福祉学部/2025年7月ご逝去
高室 成幸さん 1980年社会福祉学部/2025年6月ご逝去
尾朝 健太郎さん 2015年通信教育部/2025年7月ご逝去
村瀬 頼子さん 2015年通信教育部/2025年8月ご逝去
金子 鉄男さん 2016年通信教育部/2025年11月ご逝去

(卒業年次順)

同窓生相互協力ネットワーク ～日本福祉大学同窓会「生活課題相談窓口」の開設について～

日本福祉大学同窓会は、同窓生同士の相互協力の場として、「生活課題相談窓口」を、同窓会本部事務局内に2025年7月1日に開設しました。

この窓口は、「こんなことは、どこに聴いたらよいだらうか?」という問いに対して、同窓生のネットワークを活かして、問題等の性質、性格において適切な専門機関等へ繋ぐことを目的としています。問題、事案の解決を意図せず、適切な専門機関をご紹介します「ファーストタッチ」となります。「日本福祉大学情報セキュリティの基本ポリシー」、「日本福祉大学個人情報保護の基本ポリシー」(大学のHPをご参照ください)を順守して実施します。ご紹介までに日

数がかかることがあります。ご了承をお願い申し上げます。

1. 相談日時: 平日10時～15時(但し、正午～13時除く)
窓口閉鎖期間(土日・祝日、夏季・冬季の一斉閉鎖をはじめ、行事等で不定期に閉鎖させていただく場合があります)
2. 相談分野: 介護、教育、障害、医療、労務、生活困窮、経営企業等
3. 相談方法: 相談申込フォーム(右記)をご利用ください。



北海道地域同窓会

開催日●2025年9月20日(土)
会場●釧路プリンスホテル(釧路市)
参加者●98名

演 題：地域共生社会の創造にむけて
～社会福祉法改正の動向とこれからの課題～

講 師：原田 正樹 先生

日本福祉大学同窓会設立70周年記念北海道地域同窓会「社会福祉セミナーウムinくしろ」を北海道釧路市にて開催いたしました。会場には、福祉関係者、行政職員、教育機関関係者、同窓生、学生など、道内外から約100名が来場しました。我が学長、原田正樹教授の基調講演「地域共生社会の創造にむけて～社会福祉法改正の動向とこれからの課題～」に続き、

パネルディスカッションを実地。「地域共生社会」の今を掘り下げ、地域福祉の実践と未来を語り合う場としてニップク魂が飛び交う集まりとなりました。

(文責 小野 信一)



青森県地域同窓会

開催日●2025年8月23日(土)
会場●青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸(青森市)
参加者●19名

演 題：誰もが安心して住み続けられる住民支え合いのまちづくり
講 師：児玉 善郎 先生

令和7年8月23日(土)に青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸で公開講座を開催しました。学園共同事業ということで児玉ゼミの学生さん4人が参加してくれ、また初めての参加者もいて例年以上ににぎやかな交流ができました。懇親会は、海鮮料理の「海坊厨」。福祉大で学んでいる学生からの話を聞いて自分たちの学生時代を思い出すとともに、今の時代、青森もまだまだできることや良いところが沢山あると再確認できた同窓会となりました。

(文責 今二史)



宮城県地域同窓会

開催日●2025年8月30日(土)
会場●仙都会館(仙台市)
参加者●14名

8月30日、仙台市の仙都会館にて宮城県地域同窓会を開催。14名が参加し、学生時代の思い出や近況、私の“推し”をテーマに語り合いました。

「鉄分は南部鉄器から」「承認欲求と信頼が人を育てる」など名言も続出。

卒業式で美浜に初上陸予定だったが3.11で断念した通信卒業生の初参加もあり、共感と笑顔に満ちた2時間半となりました。

私の推し魚はタチウオ。知多半島で出会った干物の味や、店頭に並ぶ眩しい身は東北では見られないものですが、温暖化の影響で三陸沿岸でも水揚げされるように。複雑ながらも、おいしくいただいています。(文責 菊池 郁民)



山形県地域同窓会

開催日●2025年9月20日(土)
会場●山形七日町ワシントンホテル(山形市)
参加者●18名

演 題：災害に強い地域社会づくり

講 師：菊池 遼 先生(社会福祉学部 講師)

今年の同窓会総会は、大学同窓会70周年事業・学園及び同窓会周年共同事業として、講演会、在学ゼミ生との交流会、そして懇親会というプログラムを盛り込んで開催しました。講演会講師の菊池遼先生は、山形大学出身でもあり、災害対策について山形や東北の状況を踏まえながらわかりやすくお話いただきました。

在学ゼミ生の発表は、それぞれ「自分らしさ」がでており、日福のレガシーが受け継がれているように感じました。初めての参加者もいて懇親会は大いに盛り上がりました。

(文責 鈴木 一成)



秋田県地域同窓会

開催日●2025年7月5日(土)
会場●秋田拠点センター「アルヴェ」(秋田市)
参加者●96名

演 題：ふくしの課題は地域を元気にする宝物です
～「つながる」ことで見える地域再生の可能性～

講 師：小松 理佐子 先生

同窓会設立70周年を記念し、「セミナーとミニコンサート」を開催しました。小松理佐子副学長の講演に続き、キャラの濃いめな同窓生2名の実践発表(「居場所づくり」「不登校児への支援」)や小松ゼミ生による発表での「パネルで交流」など、意見交換も活発でした。最後は地元のデュオ「ダックスムーン」のコンサートで一体感を味わい、有意義な記念事業となりました。約100名規模の事業を同窓会として開催するのは初めてで、一般参加者が7割も占めたことに同窓生も充実感あふれる機会となりました。

(文責 米谷 恭一)



福島県地域同窓会

開催日●2025年11月8日(土)
会場●郡山商工会議所(郡山市)
参加者●24名

演 題：超高齢化社会のふくしを考える
～地域包括ケアシステムと人材育成～

講 師：小松 理佐子 先生

今年の総会では、通常の総会の後に、小松副学長の講演「超高齢化社会のふくしを考える～地域包括ケアシステムと人材育成～」を行いました。その後の意見交流会で「事業所が地域で果たす役割を考える」とのタイトルで同窓生からの福祉、介護、医療のそれぞれの分野から報告がされ、参加者でディスカッションを行いました。

その後の懇親会

では、初めて会った人もとても盛り上がり、みんなで「ケサラ」の大合唱となりました。

(文責 松崎 聡)



群馬県地域同窓会

開催日●2025年8月10日(日)
会場●群馬県社会福祉総合センター(前橋市)
参加者●39名

演題：社会的孤立とソーシャルワーカー
講師：野尻 紀恵 先生

今年の講演会は昨年に引き続き、野尻紀恵先生にお願いしました。(昨年はオンラインであった為、ぜひ対面でお話を聞きたいという声が強かったのです)。現場で働いている一般の方も参加してくれて、とても貴重な話を聞くことができ良かったと言っていました。前橋は連日40度近い日が続いていましたが、当日は雨模様で過ごしやすく、天気も味方してくれました。総会～懇親会と最後まで野尻先生、それから奈良会長、杉田理事も参加していただき感謝です。最後は校歌を高らかに歌い解散しました。

(文責 今井 芳明)



東京都地域同窓会

開催日●2025年7月26日(土)
会場●主婦会館プラザエフ(千代田区)
参加者●122名

演題：人間味あふれる折り合いの創造
～精神障がいがある本人や家族との37年間の追体験を中心に～
講師：青木 聖久 先生

日本福祉大学同窓会設立70周年記念事業「講演&トークセッション」を東京都地域同窓会と全国精神保健福祉会連合会とのコラボで6年ぶりに開催。同窓生・在学生、みんなねっと、一般の方122人が参加。第1部は青木聖久先生の講演「人間味あふれる折り合いの創造～精神障がいがある本人や家族との37年間の追体験を中心に～」、第2部トークセッション「生きづらさと人間らしさ」をテーマに当事者の「リカバリーストーリー」を伺い、これからも当事者参加を進める力になっていきたい!との決意に感銘を受けました。

(文責 杉田 哲也)



東京都地域同窓会

開催日●2025年8月23日(土)・24日(日)
会場●ビジョンセンター東京京橋/鍛冶屋文蔵
東京スクエアガーデン店(中央区)
参加者●13名

演題：地域福祉と災害ソーシャルワーカー
講師：山本 克彦 先生/篠原 辰二 氏(一般社団法人Wellbe Design理事長)/新井 利民 氏(立正大学社会福祉学部教授)

8月23～24日、東京京橋で開催されたスクーリング「地域福祉と災害ソーシャルワーク」の同窓生公開講義&交流懇親会を開催しました。山本克彦先生を始め講師の方々是全国各地の災害支援に携わっていて、災害支援にはその地域の普段の暮らしや背景を知る、発災前から地域福祉の構築が重要、被災者・被災地の自立を目指した支援が重要等、実践に裏付けられた様々な視点からご講義いただきました。今回の繋がりからSNSを使った新たなネットワークも生まれ、充実した2日間の学びになりました。

(文責 葛西 なおみ)



東京都地域同窓会

開催日●2025年11月9日(日)
会場●国営昭和記念公園
バーベキューガーデン(立川市)
参加者●16名

11月9日(日)国営昭和記念公園バーベキューガーデンで「黄葉・紅葉まつりでBBQ交流会」を行いました。あいにくの雨模様となりましたが参加申し込みされた方全員が集いキャンセルはゼロ!また、福祉経営学部(通信教育部)の秋期試験と重なりましたが、午前中に終えた人、帰ってからチャレンジする人も参加してくださり感謝。常連さんに初めて参加の在学生さん、ご家族連れ16名でジュージュ、モウモウと美味しそうな音と煙のハーモニーを楽しみながら、よく食べよく飲み大いに交流し楽しいひと時を過ごしました。

(文責 杉田 哲也)



東京都地域同窓会

開催日●2025年11月30日(日)
会場●東京サテライト
参加者●11名

11月30日、東京サテライトで「パブリックビューイングin東京サテライト」を開催しました。これは同時刻に開催されている「第37回日本福祉大学社会福祉セミナーin鳥取」を東京からオンライン視聴しようという初の試みで、同窓生・在学生併せて11名集まりました。

鳥取県出身のタレント・イモトアヤコさんのトークショー、多様性を受け入れスポーツを通じて人や地域と繋がる方々のパネルディスカッション等、鳥取に行けなくても東京の仲間と楽しさや感動を共有でき、有意義なひとときとなりました。

(文責 葛西 なおみ)



東京都地域同窓会

開催日●2025年12月6日(土)
会場●国立ハンセン病資料館
国立療養所多磨全生園(東村山市)
参加者●25名

今回何よりも良かったのは、5年ぶりに復活した園内散策で、映画「あん」の中で樹木希林さんと市原悦子さんが「ぜんざい」を食べながら語っていたあの「お食事処なごみ食堂」の見学です。閉店時間にも関わらず快く見学を受け入れてくれた藤崎さんと熊谷さんのお話を聞けたことです。「全生園の歴史と入所者の生活を支えた象徴的な場をなんとか残せないか」と10年前から営業を引き継ぎ、入所者の方の声を代弁して「人権がいかに大切かの発信基地」を守るお二人の力強い言葉が印象に残る一日でした。

(文責 深堀 清美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年7月9日(水)
会 場●鎌倉療育医療センター 小さき花の園
(鎌倉市)
参加者●7名

鎌倉療育医療センター小さき花の園を訪ねました。社会福祉法人聖テレジア会が1970年に開設した重度心身障害児者施設です。敷地内には、法人が運営する病院や特別養護老人ホームもあります。施設は72床の入所施設以外に外来診療や通所サービスの他に相談支援などを備えています。入所者の平均年齢は40代後半です。経管栄養の利用者や人工呼吸器の利用者が多く、最近は見取りのケースもあるそうです。県内には同様な施設は12ヶ所しかなく、小さき花の園のような施設は少ないようです。

施設見学の後に江の島散策に出かけましたが、気温と湿度が高く、歩き回ると熱中症になる危険が高いため、昼食の後は八坂神社までの短い距離を歩くのみで、かき氷を食べて解散しました。

(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年7月12日(土)
会 場●福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜(横浜市)
参加者●37名

演 題：学ぶ楽しさを分かち合おう～自律・共生・共倫的な学びへ～
講 師：浅石 裕司 先生

通信教育生との相談・交流会を開催しました。最初に福祉経営学部の浅石 裕司先生から「学ぶ楽しさを分かち合おう～自律・共生・共倫的な学びへ～」と題してミニ講演をいただきました。その後、在学生と卒業生が5つのグループに分かれて討論。日頃の学習や試験対策、国試対策、進路などについて意見交換が行われました。参加した学生からは、「4月に入学したばかりなので学習の仕方がわからなかったのですが、小テストを中心にするよと教えてもらえました」「演習に関する情報が少なかったので、卒業生の話が聞いて参考になりました」「国試対策の勉強法について先輩方から聞いて良かったです」「同じような悩みを抱えている仲間と出会えて良かったです」「一人で勉強していると息詰まることが多いけど皆と話ができて良かったです」「このような交流会は継続して欲しい」などたくさんの感想をいただきました。相談・交流会後の懇親会には、26名が参加して、楽しいひと時を過ごしました。(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年8月23日(土)
会 場●ちひろ美術館・東京(練馬区)
参加者●10名

日本福祉大学同窓会設立70周年・神奈川県地域同窓会設立40周年記念事業のプレ企画として、ちひろ美術館・東京の見学会を開催しました。ちひろ美術館は、ちひろの作品だけでなく、日本や世界の絵本画家の作品なども展示され、絵本は手に取って読むこともできます。ちょうどこの日は戦後80年ということもあり、絵本でつなぐ平和をテーマにちひろの代表的な作品である「戦火のなかの子どもたち」やウクライナ民話の「てぶくろ」などたくさんの原画を見ることができました。見学会では最初に美術館の学芸員から簡単な説明を受けた後、参加者は各々自由に作品やビデオを鑑賞しました。なかには子どもたちと一緒に朗読会に参加した同窓生もおりました。参加者からは、「こういう機会をいただいて良かった」「福祉の勉強も良いけどこういう文化的な企画もいいですね」「作品からちひろの平和に対する思いが伝わって来た」「次回は安曇野の美術館に行きたい」などの感想をいただきました。(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年9月13日(土)
会 場●くいもの屋わん 上大岡店(横浜市)
参加者●19名

9月に入っても35℃を越える日があるなかで、暑気払いを開催しました。同窓会企画に初参加という同窓生は「今日は朝から緊張してそわそわでした。温かく迎えてもらえて嬉しかった」「これからは同窓会の企画にもっと参加しようと思います」と感想を語ってくれました。茨城県から参加した在学生からは「ここに来ると楽しいのでつい来ちゃいます」と嬉しい言葉をいただきました。そんな彼に同窓生から「神奈川に就職しなよ。会長が仕事を紹介してくれるよ」と誘いがかかります。どこの地域に住んでいても同じ大学で学んだ仲間とは繋がっていたいという連帯感が自然と芽生えてきます。最近になって就労支援B型の事業所を起業した同窓生からは「障害者の仕事は農作業で、畑で野菜だけでなく、みかん栽培も始めてるから事業所見学を兼ねてみかん狩りに来ない?」と同窓会企画の提案がありました。暑気払いは、参加者の笑顔が絶えない楽しい時間でした。(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年10月8日(水)
会 場●津久井やまゆり園(相模原市)
参加者●24名

2016年7月に起きた津久井やまゆり園の凄惨な殺傷事件から9年。2021年に完成した新園舎を訪ねました。園は、1964年に神奈川県が設置したものでしたが、現在は社会福祉法人かながわ共同会が運営する指定管理施設になっています。

見学に先立ち鎮魂のモニュメントへ献花および黙祷を行いました。玄関を入ると書家の金澤翔子氏が犠牲者を悼んだ『祈』やともに生きる憲章の『ともに生きる』の書が目に入ります。園長の永井清光氏からは、園の沿革や殺傷事件のこと、意思決定支援の取り組みとともに園長として今考えていることなどを伺いました。その後、相模湖MORIMORIや高尾山へ連なる山並みを望む園庭や園舎を案内していただきました。(文責 齋木 よしみ)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年11月15日(土)
会 場●福祉保健研修交流センターウィリング横浜/
ラパウザ上大岡ミオカ店(横浜市)
参加者●101名

演 題：ちひろ没後50年を経て～絵本の世界から読み解くメッセージ
講 師：松本 猛 氏(美術・絵本評論家 いわさきちひろ美術館常任顧問)

日本福祉大学創立70周年・神奈川県地域同窓会設立40周年記念事業を開催しました。第1部の講演会は、「ちひろ没後50年を経て～絵本の世界から読み解くメッセージ」と題して、ちひろ美術館の常任顧問であり絵本作家の松本猛さんに講演をお願いしました。講演は大変好評で、参加者からは「ちひろの絵が好きで参加したけど講演を聞いてますます好きになりました」「絵の持つ力の大きさを感じることができました」「絵を通して命の平和の大切さを学びました」などの感想がたくさん寄せられました。第2部の式典では当日参加者に配布された「40周年記念誌」や「活動紹介リーフレット」、「オリジナルポーチ」などの説明がありました。第3部のパーティーは、近くのお店を貸し切り開催されましたが、杖中世代や美浜世代だけでなく福祉経営学部の同窓生や在学生も参加しての楽しい会となりました。(文責 片倉 博美)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年11月30日(日)
会 場●福祉保健研修交流センター
ウイリング横浜(横浜市)
参加者●7名

社会福祉セミナーin鳥取をliveで視聴する会を開催しました。第一部のイモトアヤコ氏トークショーでは24時間テレビのエピソードに引き込まれ時に笑いありと楽しめました。

第2部のパネルディスカッションではパラスポーツについてわかりやすく語られ魅力も伝えていただきました。

ひとり自宅に参加するものもよいですが集まって雑談をしながら視聴したのが楽しかったです。

(文責 齋木 よしみ)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年12月5日(金)
会 場●杉本寺・報国寺・
一条恵観山荘(鎌倉市)
参加者●9名

片倉会長がガイドする人気企画「晩秋の鎌倉散策」を開催しました。鎌倉駅からバスで鎌倉最古の寺院、杉本寺を訪ね神秘的な苔むした石段や秘仏を拝観した後、ゆっくり歩きながら報国寺を訪ねました。美しい竹林の中でお抹茶をいただき一息つくとともにマイナスイオンをたっぷり浴びた後、皆で楽しく散策しながら国指定重要文化財「一条恵観山荘」へ移動しました。かやぶき屋根の山荘とリンドウやツワブキが咲く美しい庭園を眺めました。師走の小春日和の日差しに円窓(えんそう) 悟りの窓の美しさが印象的でした。古都鎌倉をのんびりゆったりと散策できてとても楽しかったです。

(文責 齋木 よしみ)



神奈川県地域同窓会

開催日●2025年12月13日(土)
会 場●くいもの屋わん 上大岡店(横浜市)
参加者●18名

忘年会を開催しました。毎回恒例のお題に沿っての自己紹介。今回は「年末年始の過ごし方」でした。出されたのは、家族旅行や帰省、ひとり旅、寝正月、学生さんからは「課題」と。もちろん福祉にかかわる方が多いので通常通り仕事の人も、一方、9連休という方も。「ひゃあ(うらやましい!!)」の悲鳴や「おお(すごいね!!)」といった声が上がりました。その後の歓談でも盛り上がりつつ、在学生の学びの悩みや同窓生の仕事の悩みに真摯に耳を傾け意見を交わしました。

(文責 齋木 よしみ)



新潟県地域同窓会

開催日●2025年11月15日(土)
会 場●まちなかキャンパス長岡(長岡市)
参加者●8名

今年の「集い」は長岡市在住の同窓生の皆さまに協力していただき開催することができました。前半は総会と近況報告会をしました。後半の懇親会では、現役時代の思い出や教訓、昨今のワークライフバランスの話題を交えた現場の働き方の難しさ、利用者への支援のための地域の社会資源との連携についてなど思い思いの話題で歓談しました。今回の参加者は8名と比較的少数でしたが、その分少し時間にも余裕ができて近い距離感で話題を共有できた貴重な集いになりました。

(文責 山賀 亮一)



富山県地域同窓会

開催日●2025年8月23日(土)
会 場●富山オフィス
参加者●6名

8月23日に座談会「しゃべり場」を開催しました。今回のテーマは「わたしの推し!」。アイドル、俳優、歌手、スポーツ選手から身近な人まで『推し』は幅広い。推し活をしている人でないとなかなかわからない話もあり、楽しかったです。他にも地震関連の話や仕事の裏話などで盛り上がり、時間が足りないくらいでした。参加して下さった皆さま、楽しい時間をありがとうございました。

(文責 田森 万理恵)



富山県地域同窓会

開催日●2025年10月13日(月)
会 場●富山国際会議場/
富桜 別邸 富山駅前店(富山市)
参加者●23名

10月13日に富山で開催された大学セミナーに合わせて総会と懇親会、同窓会設立70周年記念事業として在学生との交流会を開催しました。4名の社会福祉学部4年生が参加してくれて、運営に携わっている子ども食堂の活動などについて発表してくれました。発表は大変分かりやすくまとまっております、同窓生からの質問に、時には先生のフォローを受けながらも積極的に答えてくれました。

懇親会は、久しぶりの同窓生の参加もあり、在学生との交流会で発表してくれた4人も参加してくれて、話が弾み楽しい時間を過ごすことができました。

(文責 田森 万理恵)



岐阜県地域同窓会

開催日●2025年7月12日(土)
会 場●ぶらっ菜(岐阜市)
参加者●15名

今年度も、親睦会を岐阜市住田町にある居酒屋「ぶらっ菜」で、7月12日(土)午後6時より開催することができました。

昨年度よりも多い15名の方に参加していただき、おいしいお酒と料理を楽しみながら、自己紹介を交えつつ、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

この日は、役員のほかに新たに11名の方から参加申し込みをしていただき、もっとお話を聞きしたかったのですが、10月のイベントでのご協力を期待しながら、お開きとなりました。(文責 古川 健次)



岐阜県地域同窓会

開催日●2025年10月11日(土)
会 場●各務原市立中央図書館(各務原市)
参加者●124名

演 題：岐阜県で地域共生社会を実現する！
～誰もが暮らしやすい地域をめざして～

講 師：小松 理佐子 先生

日本福祉大学岐阜県地域同窓会の「講演会及びパネルディスカッション」を、令和7年10月11日、各務原市立中央図書館の多目的ホールにて行いました。日本福祉大学副学長の小松理佐子先生に、「岐阜県で地域共生社会を実現する！～誰もが暮らしやすい地域をめざして～」という演題で講演いただきました。後半は、「地域共生社会の実現に向けて誰が、何をやる!？」というテーマで、3人のパネラーと学生さんにお話しいただきました。学生さんの発表は新鮮で、来場者の皆さまからは好評価でした。多くの方に参加いただきました。

(文責 古川 健次)



岐阜県地域同窓会

開催日●2025年10月11日(土)
会 場●matane HERB&SPICE(各務原市)
参加者●36名

講演会終了後、懇親会を各務原市の matane HARB & SPICE において開催いたしました。小松先生と学生さんを囲み、おいしい料理に舌鼓を打ちました。これまでにお会いしたことのない方が多く、名刺交換をしながら交流を深められたのではないかと思います。これをきっかけに LINE に登録していただいた方も増えましたので、有効に活用しながら、ゆるりと長くお付き合いしていけたらと考えています。(文責 古川 健次)



岐阜県地域同窓会
飛騨支部

開催日●2025年6月22日(日)
会 場●高山市総合福祉センター(高山市)
参加者●18名

演 題：笑いヨガの実施

講 師：野村 美由紀 氏(笑いヨガ古川同好会)

6月22日の総会には、18名の参加者がありました。今回の総会には、岐阜県支部理事の兼松様にもご出席いただき、県支部の状況等の説明がありました。

その中で、今年度より支部への助成金を見直しすることを提案されて、会員の了承をもって可決されました。また、この件に関連して、年2回発行していた会報を、今後は年1回(5月発行)のみとする提案に関しても、了承していただき可決されました。その他、役員の一部改選がありました。第2部では、笑いヨガ古川同好会の実施体験を参加者全員で行いました。

(文責 杉本 晋治)



西三河/
豊田岡崎地域同窓会

開催日●2025年8月24日(日)・11月2日(日)
会 場●名鉄トヨタホテル(豊田市)/
東海キャンパス
参加者●39名

豊田・岡崎地域では、恒例の総会と卒業を祝う会を8月24日に開催し、会食と近況報告をしながら、幅広い年齢層の同窓生が親睦を深めました。

また、11月2日には大同窓会に参加しました。当日はレンタルしたマイクロバスで会場へ向かい、道中から和やかな交流が生まれました。講演会、懇親会への参加のほか、同窓生の農産物と福祉事業所製品の物販を行い、完売の盛況でした。

豊田・岡崎地区の皆さま、今後の同窓会行事へのご参加をお待ちしています。(文責 高塚 幸江)



知多地域同窓会

開催日●2025年12月6日(土)
会 場●メディアス体育館ちた(知多市)
参加者●67名

若年性認知症をテーマとした映画『オレンジ・ランプ』を上映し、その後に、映画原作者の山国秀幸氏と若年性認知症当事者によるトークセッションを行いました。また、当事者ミーティングを実施し、当事者による交流を図りました。映画・トークセッションにより、特別なことではなく普通に接することの大切さや、ピアサポートの必要性について学ぶことができました。

(文責 安居 智)



三重県地域同窓会

開催日●2025年10月19日(日)
会場●ホテルグリーンパーク津(津市)
参加者●58名

演題：人口減少時代の担い手問題
～地域を支える担い手をいかに育てるか～
講師：小松 理佐子 先生

同窓会設立70周年ならびに大学と同窓会の周年記念事業として、講演会・総会・懇親会を開催しました。我が国が現在、直面している少子化問題、後継者問題、人材不足問題について、豊かな経験と知識をベースに様々な取り組みが紹介され、皆が真剣に考えるととても良い機会となりました。小松先生の魅力、演題の内容、そしてゼミ生たちの発表に心打たれ、多面的な角度から学びが深められる、充実した時間を共有することができました。

(文責 濱口 直樹)



滋賀県地域同窓会

開催日●2025年9月20日(土)
会場●キラリ工草津(草津市)
参加者●27名

演題：今後のケアマネジメントの展望
講師：篠田 道子 先生

2025年9月20日(土)に講演会並びに総会、懇親会を開催しました。講演会は、日本福祉大学社会学部教授並びに、日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科教授、篠田道子先生にご登壇いただきました。演題は、「今後のケアマネジメントの展望」ということで福祉に携わっている私達にとって、とても有意義な内容でした。当日は27名の参加者で元ゼミ生の方もおられ、名古屋、能登、鹿児島からもご参加いただき伺った内容はそれぞれの胸の中に大事に、お持ち帰りいただいたのではないのでしょうか。懇親会では篠田教授や大阪サテライトの古澤様にも、ご参加いただき楽しく盛り上がりしました。いろいろな年代、職場、関係者の方達の集いの中、福祉で繋がっている、お一人お一人が優しく、たくましく輝いておられました。改めて日本福祉大学の繋がりは素晴らしいと実感した一日でもあり、そして、その仲間の一員であることに誇りを感じました。(文責 出口 及子)



滋賀県地域同窓会

開催日●2025年11月11日(火)
会場●美浜キャンパス
参加者●14名

滋賀県地域同窓会では、本学のご支援の下、参加者を募り懐かしい母校へ行って来ました。バス内での内容が濃い!レクリエーションに始まり写真を撮りまくった、美浜の海空山々とキャンパス。一日親切丁寧に学内の案内や色々な準備に対応いただき、バスが見えなくなるまで見送ってくださった職員の方々。学生時代が一番安い(アレ)しか食べられなかった学生食堂ではトレーに並びきれないほどの(アレコレ)をお腹いっぱい食べました。何より学生と一緒に受けた講義では学生さん達がしっかりと考え、質問をされていた事に福祉大生ここにあり!と嬉しい気持ちになりました。文字に載せきれない充実した美浜キャンパスバスツアーの一日となりました。

(文責 嶋村 久美子)



京都地域同窓会

開催日●2025年11月15日(土)
会場●アパホテル京都駅前(京都市)
参加者●45名

演題：生活保護バッシングを考える
講師：山田 壮志郎 先生

日本福祉大学同窓会設立70周年記念事業として京都地域同窓会を開催しました。第1部では山田壮志郎先生より「生活保護バッシングを考える」をテーマに、偏見の背景を分析し、共感を高める教育と持たざる者の連帯の重要性をご講義いただきました。大学近況報告では東海キャンパスの拡張工事や各キャンパスの動向が紹介されました。総会では今年度の活動方針を確認し、情報交換会では会員間の交流を深める有意義な時間となり、今後の地域連携強化への期待が高まりました。

(文責 永田 潤平)



大阪地域同窓会

開催日●2025年3月1日(土)
会場●大阪サテライト
参加者●2名

演題：サンゴクエスト体験会
講師：辻坂 衣美 氏(サンゴクエスト認定ファシリテーター)

日本福祉大学大阪地域同窓会 役員)

産後の女性たちが直面するトラブルを支援し、健康的な毎日を送るための啓発を目的としたサンゴクエスト体験会を実施しました。産後ケアは、出産を経た女性の健康を守るために非常に重要です。その大切さに気づかず見過ごしてしまう方も少なくありません。晩婚化をはじめ、子どもを育てていくための経済的負担や、産んだ後の子育ての環境が整わない、女性の社会で働くことへの意識の高まりなど複雑に絡み合っている社会現象と一緒に考える機会となりました。

ありがとうございました。
(文責 辻坂 衣美)



大阪地域同窓会

開催日●2025年9月13日(土)
会場●大阪サテライト(オンライン併用)
参加者●17名

演題：災害ボランティアセンターとは？
ボランティアセンターする意義・被災地で感じること
講師：新宅 太郎 氏(吹田市社会福祉協議会地域福祉課課長)

「災害」をテーマにした初企画で、ハイブリッド開催しました。新宅太郎氏講演「災害ボラセンとは？」と、災害の現場(応援社協活動)座談会 新宅太郎氏 × 谷口昭浩氏(日本福祉大学認定同窓会DWANT OSAKA)を行い、活発な質疑応答と交流等があり開催予定時間オーバーで終了となりました。感想として災害ボランティアセンターの活動内容や平時のつながりの大切さを再認識できました。今回の経験を通じて、災害時の支援には多くの人の力が必要であり一人ひとりの行動が大きな支えになることを実感しました。

(文責 辻坂 衣美)



大阪地域同窓会

開催日●2025年11月16日(日)
会 場●goodspoonなんばCITY南館店
(大阪市)
参加者●14名

「お子さんと一緒に参加できる昼間の意見交換・交流の場」として企画していたイベントを再開し、今回は同窓生のお子さんを含む14名にご参加いただきました。各テーブルにて目指している仕事や日々の仕事の話、趣味の話、子育ての話などで盛り上がりました。また子どもたちもすぐに打ち解け、初対面でしたが、帰り際には手をつないで移動している様子もありました。おしゃれな店内で美味しいスイーツとともに楽しくお話ができ、ほっこりとした温かい時間を過ごすことができました。

(文責 久保 瑠美)



兵庫県地域同窓会

開催日●2025年7月21日(月)
会 場●神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル(神戸市)
参加者●71名

演 題：ソーシャルワークが紡ぐ多職種連携の可能性
講 師：上山崎 悦代 先生

兵庫総会。過去最高の71名の参加！ 杵中、美浜、通学、通信…全世代が集う兵庫の層の厚さを実感。上山崎悦代先生の舞台を縦横無尽に使ってのご講演は聞く側を決して飽きさせることなく大好評。講演中の「うんあるある」感が会場内全体を包んでいた。お二人の卒業生の方の実践報告もかなり興味深いもので、時間が足りない感じ。報告系をそそくさと済ませ、懇親会へGO。大学同窓会荒木副会長も参戦しての懇親会は、旨い料理と酒、セレブ感満載の景色、大いに盛り上がる。僕の頭の中は既に来年のこと。

(文責 高階 和洋)



奈良県地域同窓会

開催日●2025年9月13日(土)
会 場●若年性認知症サポートセンター
きすなや(奈良市)
参加者●11名

奈良県地域同窓会恒例のBBQ交流会を開催しました。会場は、同窓生の若野達也さんが立ち上げられ、全国的にも活動が知られている「若年性認知症サポートセンターきすなや」です。今年も雨森孝悦先生がお越しになり、シャインマスカットを差し入れていただきました。心配した天候もBBQの最中は雨も降らず、杵中・美浜卒業生、通信卒業生が職域を超えての交流を深めることができました。

(文責 村田 清)



和歌山県地域同窓会

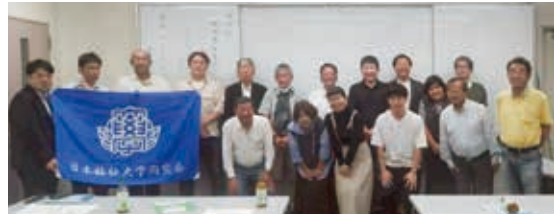
開催日●2025年10月18日(土)
会 場●和歌山県中央児童相談所(和歌山市)
参加者●19名

演 題：精神障害者の地域生活を支援して
～今までの実践とこれからの課題～

講 師：柳瀬 敏夫 氏(社会福祉法人やおき福祉会理事長)

大谷翔平が投打に渡る活躍でリーグ優勝を決めた10月18日の同日、和歌山県地域同窓会を開催しました。大阪、兵庫の地域同窓会からも出席があり、盛況の中で同窓を懐かしむ機会となりました。講師から「精神障害者の地域生活を支援して～今までの実践とこれからの課題～」をテーマにご講演があり、精神障害者支援に関わってきた多職種連携のフォーマルな資源だけでなく、「個人の領域」にも地域、社会へのマクロな視点を持ったソーシャルワークが求められる時代であるとお話があり、大変勉強になりました。

(文責 立花 直章)



鳥取県地域同窓会

開催日●2025年6月28日(土)
会 場●鳥取県立生涯学習センター
「県民ふれあい会館」(鳥取市)
参加者●19名

演 題：いのちと人権
講 師：小林 洋司 先生

「久しぶり」「はじめまして」、年々に同窓生の輪の広がりを感じています。年齢30代～80代、通学生・通信生、県内外の出身者と幅広い層から参加をいただきました。総会は、奈良会長の来賓挨拶、大学近況報告、同窓生メッセージを伝え、上程議案は全て承認されました。

講演会では鳥取にゆかりの小林洋司准教授から「いのちと人権」のお話をいただきました。このほか、11月30日(日)開催の社会福祉セミナーin鳥取の告知や自己紹介で交流を深めました。次回同窓会は令和8年6月27日(土)倉吉市で開催します。

(文責 濱本 義則)



島根県地域同窓会

開催日●2025年11月15日(土)
会 場●松江テルサ(松江市)
参加者●21名

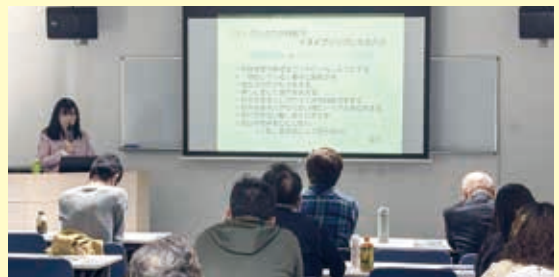
演 題：依存症を持つ人への「支援」を考える
～アルコール・薬物依存症を中心に～

講 師：山口 みほ 先生

今年度は本学より山口みほ先生をお迎えし、「依存症を持つ人への『支援』を考える～アルコール・薬物依存症を中心に～」をテーマに研修会を開催しました。参加者は時間が経つのも忘れるほど多くのことを学び、考えさせられる研修会となりました。

研修会・総会後の懇親会には幅広い年代の同窓生が集まり、年齢に関係なく大いにもりあがることができました。

(文責 安達 学)



岡山県地域同窓会

開催日●2025年10月18日(土)
会場●第一セントラルビル1号館(岡山市)
参加者●20名

演題：ハンセン病問題を学ぶこと

講師：小林 洋司 先生

2025年度の総会を開催しました。講演会では、ハンセン病という福祉の原点と「公共の福祉」を振り返り、今日の「コロナ禍」などの課題を見つめる素晴らしいものでした。福祉の様々な現場で働く我々にとって、多くの学びがありました。また、懇親会では小林先生の故郷でもある岡山県内の話題や、講演会から引き続き熱い語り合いとなりました。今後も様々な分野で活躍中の皆さまと交流ができる企画をしていきたいと思ひます。

(文責 竹内 周作)



岡山県地域同窓会

開催日●2025年12月20日(土)
会場●北前そば高田屋岡山表町店(岡山市)
参加者●11名

ようこそ岡山スクーリングへ！通信生・同窓生合同忘年会を開催しました。中四国からスクーリングに来られた通信生5名と同窓生6名が参加し交流を深めました。社会福祉士の受験資格に向けて2日間のスクーリングに合わせて開催し、講師の中田先生にもご参加いただきました。社会福祉士を目指したきっかけは異なる分野へのチャレンジや以前に福祉分野で働いていて、あらためて資格を取得しようと思われた方など様々でした。同窓生からは社会福祉士資格取得に向けた受験勉強や各地の同窓会活動などを紹介しました。

(文責 米田 宣和)



広島県地域同窓会

開催日●2025年10月11日(土)
会場●RCC文化センター(広島市)
参加者●21名

演題：教育におけるインクルージョンとはどういうことなのか

講師：藤井 啓之 先生

10月11日、同窓会設立70周年記念事業の一環として、日本福祉大学セミナーに併せて、懇親会を開催しました。当日は、教育・心理学部教授の藤井啓之先生を講師にお迎えし、「教育におけるインクルージョンとはどういうことなのか」をテーマにご講演いただきました。講演では、事例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。講演後の交流企画では、藤井先生のゼミ生による研修成果発表が行われ、在学生と同窓生が世代を超えて意見交換を行う貴重な時間となりました。終了後の懇親会では、現役学生、大学教職員、同窓生が一堂に会し、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。広島で「学び」と「交流」を共有できたことは、大変意義深い機会となりました。

(文責 池野 明子)

高知県地域同窓会

開催日●2025年6月28日(土)
会場●高知会館(高知市)
参加者●20名

テーマ：「地域を耕す」報告・交流会

実践報告者：山下香代子氏(土佐市より) 中山良江氏(土佐清水市より)
報告後：3グループに分かれ、グループ交流、意見交換会、グループ発表を実施。グループに分かれては1時間程度でしたが、充実していたという内容の感想がよせられました。(以下、抜粋)

- ・地域で福祉を工夫して、頑張っている様子を具体的に説明してくださって、分かりやすかったです。
- ・沢山の方の意見を聴くことで、新たな発見もできました。
- ・私にも、私のできる事がささやかではしょうが、あると思ひ、これからもやっといこうと励みになりました。
- ・また、先輩方とお話できる機会があれば、うれしいです。
- ・地域に根付いた活動を、私も展開していきます!!

(文責 小澤 秀子)



高知県地域同窓会

開催日●2025年10月18日(土)
会場●でいさあびすはっぴい(香南市)
参加者●8名

高知市から約30分離れた民家で若年性認知症の当事者によって開設された、社会参加型デイサービスの見学研修に行ってきました。一般社団法人セカンド・ストーリーとして、高知市・香南市の2か所開設。企業の清掃や車の洗車等、協力企業が8つあります。仕事のない日は自由に室内で将棋・編物・昼寝等と好きなことをして楽しく過ごされています。仲間たちと共に過ごされる時間はまるでもう一つの家族だと、話されました。誰もがはっぴいになれる居場所を自らつくり出されたYさんの情熱に胸打られた見学研修でした。

(文責 小澤 秀子)



福岡県地域同窓会

開催日●2025年9月2日(火)
会場●オンライン
参加者●20名

演題：いのちとくらしと裁判のお話

講師：明星 智美 先生

8月11日、対面で認定同窓会・地域同窓会で第3回合同ミーティングを開催予定でしたが、豪雨によりやむなく中止。その後、この会の顧問である明星先生から、講演を用意していたと伺ひ、9月2日21時からZoomミーティングを行いました。題して「大人の夜の合同ミーティングーいのちとくらしと裁判のお話ー」。旧優生保護法と生活保護法に関する最高裁の最近の判断を明星先生の解説で学びました。その後、各認定同窓会から活動報告等され、充実したミーティングとなり、来年の再会を約束し終了しました。

(文責 高橋 一誠)



福岡県地域同窓会

開催日●2025年10月4日(土)
会場●天神ビル(福岡市)
参加者●71名

演題：地域共生社会をどう実現していくのか
～社会福祉法の改正を視野に入れて～
講師：原田 正樹 先生

福岡県地域同窓会では、原田学長をお迎えして「地域共生社会をどう実現していくのか」と題してご講演をいただきました。当日は急な大雨で交通機関も止まるハプニングもありましたが、大変多くの同窓生・学生の皆さまにご参加いただきました。初参加の方やお久しぶりの同窓生も多く、講演会後の総会では1人1分自己紹介も行い楽しい近況報告会となりました。2026年度も講演会、交流会のイベントを開催予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。
(イベント情報は同窓会HPをご確認ください。) (文責 境 寛)



長崎県地域同窓会

開催日●2025年9月20日(土)
会場●出島メッセ(長崎市)
参加者●25名

今回の同窓会は、地域同窓会を『つながりの拠点』とすることを目指して開催しました。社会の様々な分野で活躍する同窓生の存在を知り、職域も年齢の違いも超えた交流の場になりました。同窓生の皆さまの活発な情報交換で大いに盛り上がりしました。
今後もさらにつながりの輪を上げ、「人のしあわせを願い、それを私たちが築く」という『につづく魂』を継承したい。そう心から感じた同窓会でした。
(文責 折原 重光)



熊本県地域同窓会

開催日●2025年10月25日(土)
会場●ナースパワーアリーナ(熊本市)
参加者●13名

演題：一緒に楽しむスポーツの力
～ユニバーサルスポーツがつなぐ人と社会～
講師：兒玉 友 先生

令和2年以降、新型コロナウイルスの感染拡大や諸事情が重なり、総会が開催できておりませんでした。この度、福岡オフィスの御支援をいただき、大学セミナー講演会の開催に併せて、熊本県地域同窓会総会及び懇親会を開催することができました。
総会には13名の出席でしたが、懇親会には、大学セミナー講演会講師の兒玉先生をはじめ、セミナーの参加者や学生28名に参加いただき、各世代を交えて、交流を深めることができました。
(文責 川口 和博)



大分県地域同窓会

開催日●2025年10月25日(土)
会場●コンパルホール(大分市)
参加者●19名

演題：ふくしを『学び』『伝える』こと
～リアルを問い、リアルに向き合うために～
講師：小林 洋司 先生

同窓会設立70周年記念事業として小林洋司先生による講演会及び総会、懇親会を開催しました。小林先生の講演では、「理想と現実」をキーワードに「ふくしを学ぶこと」「ふくしを伝えること」について講演が展開されていきました。演題にもある「リアル」を一人ひとりはどう捉えるのか、聴衆に問いかけるような内容で刺激的でした。また、在学生による大学生生活の報告もあり、現在の日福生の「リアル」を知ることができました。その後の懇親会では皆さま、ざっくばらんに打ち解けて、食べ、飲み、そして語らいました。
(文責 薬師寺 博之)

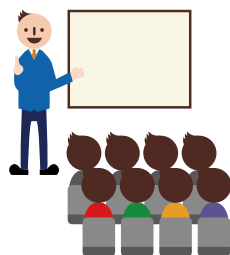


沖縄県地域同窓会

開催日●2025年10月18日(土)
会場●沖縄県総合福祉センター(那覇市)
参加者●35名

演題：こどもの貧困～輝く未来に向けて私たちにできること～
講師：中村 強士 先生

同窓会設立70周年記念事業として、総会と同日開催の形で講演会と懇親会を開催しました。枳中時代の卒業生から現在通信教育で学んでいる学生さんまで、幅広い世代が集まり交流を深めました。2025年度は、3月に九州・沖縄ブロック事業としての通信教育部卒業を祝う会の開催も、昨年度に引き続き実施する運びとなりました。2026年度に向けては、もう少し規模感を大きくして、講演会等を開催できればと考えています。
(文責 山城 康之)



枳中のロクさん

開催日●2025年5月28日(水)～29日(木)
会場●シーサイドいずたが(熱海市)
参加者●5名

2025年の「枳中のロクさん」は、熱海の「シーサイドいずたが」で開催しました。名古屋の近場で温泉をということで、熱海温泉にしましたが、80歳超えの年齢のせい、本人が相方かの体調に不安があり、出席者が少なくなりました。世話役としても道中で事故でもあったらと思い、もう限界かなと最終回にしようと思案しましたが、もう一回下呂温泉で開催し、判断しようということになりました。来年の10月28～29日に決まりました。奮ってご参加を！皆さまの健康を祈念します。
(文責 黒木 睦郎)



**訓覇スウェーデン
セミナー同窓会**

開催日 ● 2025年6月14日(土)～15日(日)
会場 ● 東海キャンパス
参加者 ● 26名

訓覇スウェーデンセミナーでは医療・福祉現場の実践上の人間関係における問題を取り上げたレポートをセミナー開催前に提出します。この段階からセミナーは始まり、職場の人間関係の中で揉みくちやにされている自分の状況を言語化する作業は苦しいが気持ちの整理になります。セミナー当日、参加者からのスーパービジョンで自分の陥穽に気がつきます。思いがけない言葉がけに勇気づけられたり、傷ついたり、気持ちは千路に乱れます。決して楽しいだけではありません。それでも帰りの車中では「もう少し仕事がんばってみようかな」と思うことができました。

(文責 田中 美江)



安藤クラス情報交換会

開催日 ● 2025年6月17日(火)
会場 ● オンライン開催
参加者 ● 6名

参加メンバーの近況報告を実施し、それぞれの職場でのソーシャルワーク実践などを共有しました。それぞれの職場の現状を把握した後に、それぞれのトピックを共有しました。

特に参加者の職種は児童関連、MSW、訪問看護、包括と様々、他業種との連携について話し合いました。包括職員からは、医療関係との連携で苦慮する場面があります。例えば、病院は早く患者を退院させたいが、在宅での受け入れが整っていないことがあります。退院調整する関係者がソーシャルワークを学んでいると退院患者の調整など連携しやすいことなどを話し合いました。

(文責 藤井 司)



**近藤直子ゼミ
(1992卒業生)**

開催日 ● 2025年6月29日(日)
会場 ● 名古屋キャンパス
参加者 ● 9名

毎年恒例の同窓会。参加者9名で11月の大同窓会の打ち合わせも兼ねての会でしたが、会った瞬間からおしゃべりが止まらず、お互いの近況報告もしながらあっという間に時間が過ぎました。年を重ねつつも変わらないみんなにホッとする時間もありました。直子先生も7月2日のお誕生日で75歳。「できないことのある素直さ、できないからこそできることがある、75歳にしかなれないことをまとめた」とのこと。これから自分たちが向かう未来に灯をともしてもらえそうだととても楽しみにになりました。

(文責 加藤 智恵子)



**アメリカンフットボール部
同窓会**

開催日 ● 2025年7月13日(日)
会場 ● 美浜町運動公園(美浜町)
参加者 ● 88名

7月13日、快晴の元、同窓会設立70周年記念特別事業の採択を受け、アメフト部の現役学生とOBで合同チームを編成し、初めて、社会人リーグX2所属の「いそのスーパースターズ」との交流試合を開催しました。同窓生22名を含め、現役生、対戦チーム、観客を含め約80名が知多奥田に集いました。また、OB/OG会の「2024年度活動報告と2025年度活動計画」を確認し、現役チームへの支援について意見交換を行い、多世代にわたる交流の時間となりました。



PSW-net

開催日 ● 2025年7月18日(金)～20日(日)
会場 ● 神戸市立総合福祉センター等(神戸市)
参加者 ● 29名

青木聖久教授を『推し活』する約30名が2泊3日で神戸に集結！神戸実践報告会を開催しました。ブレ企画は「阪神淡路大震災から30年を振り返る」と題して、神戸大学特命准教授磯辺康子先生の震災後のメンタルヘルスについての講演が行われました。

メインの「実践報告会」では、相談支援専門員の方からは「相談支援って……」、麻薬取締官の方からは「麻薬取締部における再乱用防止対策について」と題した報告がありました。このお二人の報告に活発な意見交換が行われました。

さらに、和歌山保健所、神戸社協の大先輩の同窓生からは震災の経験談が語られ、涙しました。翌日は「人と防災未来センター」見学で学びを深め、来年の再会を約束して閉幕しました。

(文責 佐藤 洋子)



**K-net
(近藤克則ゼミ同窓会)**

開催日 ● 2025年7月19日(土)～20日(日)
会場 ● 美浜キャンパス他
参加者 ● 14名

近藤克則ゼミ1期生が幹事となり、K-net大同窓会を開催しました。1期生にしてみれば、26年ぶりの美浜キャンパス講義室での近藤先生の講義です。講義の演題は「発達フェーズとポートフォリオ作成の勧め」。懐かしいリアクションペーパーを使ってポートフォリオを作成するワークにも取り組みました。

講義後は、みんなでキャンパス内を散策—当時はなかったSports Lab SALTOに驚くとともに、懐かしいゼミ棟、そして、サワガニとカブトムシがいるキャンパス風景に癒されたひと時でした。

(文責 杉本 浩章)



勢和寮南寮88同窓会

開催日●2025年7月26日(土)~27日(日)
会 場●亀の井ホテル知多美浜ほか(美浜町)
参加者●7名

1988年に入学し、勢和寮南寮に暮らし7人が全国から集まりました！北奥田に建っていた勢和寮跡地、「灯台うどん」♪、キャンパスでは、偶然オープンキャンパスが行われており、現役学生さんが頑張る様子も拝見できました！泊まりは旧「かんぼ保養センター」、現「亀の井ホテル」で決まりです。学生時代に戻って思い出話に花が咲きました。翌日は、勢和寮生なら誰もがお世話になったパン屋「ハイデルベルグ」を訪問しました。我々を育ててくれた美浜の地への感謝と学生時代の青春をふり返る貴重な時間となりました！！

(文責 南 多恵子)



大学院社会福祉学研究所
社会福祉学専攻(通信教育)同窓会

開催日●2025年9月6日(土)
会 場●名古屋キャンパス(オンライン併用)
参加者●72名

総会では、3人のご来賓を迎え、2024年度の事業報告と収支決算を行いました。特に役員改選は昨年度の変更案を受け、役員改選の仕組み、任期などの改定を審議し、暫定的ですが参加者の了解を得ました。総会後は、修士課程1、2年の院生約50余名も加わって合同企画を開催しました。この第1部では森川和珠氏(椋山女学園大学人間関係学部講師)、日本福祉大学の同窓生の泉和男氏をお招きし、「70周年記念事業 修士課程で学んだことや研究を修了後どう活かしているか」と題した報告が行われました。報告後の第2部では修士1、2年生が混合でグループになり、グループワーク「先輩の話を受けて修士課程を終えてどう活かしてしていきたいか」が行われました。活発に議論が交わされ、交流の場となりました。

(文責 岡本 周佳)



オニヤンマの会
(日本福祉大学児童文化部同窓会)

開催日●2025年9月7日(日)~8日(月)
会 場●宇奈月温泉延対寺荘(黒部市)
参加者●19名

富山県宇奈月温泉で、児童文化部オニヤンマの会を開催しました。70代から80代が、半世紀の時が過ぎても、集えばたちまち青春時代のあの頃に戻って、話の花が咲きました。美味しい食事をいただき、歌って踊って語って存分に楽しみ、温泉で湯ったりして日頃の疲れを忘れることができました。

二日目は、トロッコ列車に乗って黒部深谷の大自然を堪能し、また来年会おうと誓いました。年々、年齢的に参加者が減ってきていますが、各々の今が在るのは、日福大での濃密な時間の賜物と確認し、互いに元気パワーを一杯もらった同窓会でした。

(文責 大浦 健一)



1992年度卒業
二木ゼミ同窓会

開催日●2025年9月20日(土)
会 場●豆家別邸鶏とおとうふ福福(名古屋)
参加者●7名

昨年に続き、今年も二木立先生をお招きして7期生のゼミ同窓会(通算5回目)。二木先生が毎月主催されている医療福祉研究塾(通称『二木ゼミ』)の後に開催しました。私たちも卒業して32年経ちましたが二木先生のかかわらぬご活躍ぶりにはゼミ生一同、襟を正す思いでした。ヘルシーな豆腐料理を食べながら、酒を酌み交わし、二木ゼミ恒例「1分間スピーチ」として、仕事、介護、子育てでそれぞれの忙しい日常を語りあうあっという間の楽しい時間でした。また、みんな笑顔で再会しましょう！！

(文責 安藤 一成)



宮下ゼミ
(1980年度卒業生)

開催日●2025年9月27日(土)
会 場●個室居酒屋 すみ田(岐阜市)
参加者●14名

卒業後3回目の同窓会を岐阜市内で開催しました。日本各地から17名中14名の参加があり、改めてゼミの絆の強さを感じました。同窓会は2部構成で、第1部は岐阜城や川原町、薬市楽座の散策、第2部は懇親会。懇親会では、若くして泉下の人となったゼミ員に黙祷後、美味しい料理をいただきながら近況報告会やクイズ大会で大盛り上がり。まさに「宮下ゼミ」という「心のふるさと」に帰ってきた心地よさは、琴線に触れる最高の同窓会となりました。最後に、健康第一で2年後に関東での再会を約束しました。

(文責 川瀬 京子)



訓覇スウェーデン
セミナー同窓会

開催日●2025年9月27日(土)~28日(日)
会 場●名古屋キャンパス
参加者●29名

当日は、訓覇法子先生による自我心理学に根差したグループスーパービジョンの講義が行われました。

同窓会には初参加者が2名おり「スーパービジョンとは何か」「スーパーバイザー、スーパーバイジーの役割は何か」を学びました。事例の中でどこに本質があるのかを役割演技を行う方法と対話式を用いて行いました。

スーパービジョンは、自我心理学に根差して行われます。事例が自我機能から見てどのような状況であったのか。全ての事例の根底にあるものは人間関係であり、専門職としての実践、自分のやり方やあり方はどうだったのか。支援者への見方、働きかけがどうだったのかを振り返ることで問題解決を目指していくからです。

(文責 大塚 未来)



筑豊の大人たち
(ボタ山の会)

開催日 ●2025年10月4日(土)
会場 ●焼とりの八兵衛ソラリアプラザ店(福岡市)
参加者 ●6名

同窓会設立70周年、おめでとうございます。筑豊ボタ山の会のメンバーは10月4日福岡での記念事業「原田学長の講演会」の盛会を願って、直前に決起集会ならぬ近況報告会を開きました。いつ集っても変わらぬ学生時代の連帯意識復活！恩師の明星先生を囲み、大学での学びを礎に独立した方、着実にキャリアを積み重ねている方、未来への構想を持ち活気に溢れている方などなど、ノンアルコールランチ会とは思えぬテンション。原田学長が講演会で力説されていた「地域共生社会の実現の担い手」を目指して、皆、社会的孤立へアプローチしています。
(文責 内田 浩子)



1976年卒2部大泉ゼミ

開催日 ●2025年10月4日(土)~5日(日)
会場 ●神田山荘(広島市)
参加者 ●10名

北海道での同窓会から8年ぶりの再会でした。参加者は10名でした。今回は幹事の充実した企画「戦後80年広島で平和と福祉を語る親睦交流会」。幹事のご友人のガイドで改めて被爆地の実相と史実、核兵器廃絶の大きな運動の広がり等を学ぶことができました。2年後は京都での再会を約束して別れました。
(文責 中村 公三)



みそしるの会

開催日 ●2025年10月16日(木)~17日(金)
会場 ●ピラックス高園(名古屋市中)
参加者 ●20名

福祉大勢和寮を卒業して約半世紀以上が経ち、苦楽を共にした仲間が今年も静岡に集いました。マイクロバスで天竜川沿いを走り、ホテルへ。会食、懇親会は「みそしるの会」会長の息さんが営む鉄板屋「きり」で行いました。久しぶりの再会には話はずきずき、寮生活の思い出、要求を主張して大学と交渉したこと、アルバイトあれこれなど、若かりし頃にかえって夢中でおしゃべりをしました。来年は新潟に集合！ということになり、再会を約束して散会しました。
(文責 水谷 幸子)



蟬の会
(1965年卒短大保育科同期会)

開催日 ●2025年10月17日(金)
会場 ●人形町今半名古屋ミッドランドスクエア(名古屋市中)
参加者 ●15名

猛暑のせいか蟬の声が聞こえない夏でしたが、土方先生、私たちの声は届きましたか。オリンピックの年毎にと始まったクラス会、今年は万博でした。80代となりましたが、豪華な食事をいただきながら語り合い、すっかり学生時代に戻ってしまいました。短い期間を共にした仲間達でしたが絆は濃厚でした。
楽しい思い出の1ページが重なる1日となりました。
(文責 柴田 あかり)



76FW大泉ゼミ同窓会

開催日 ●2025年10月18日(土)~19日(日)
会場 ●ホテルシーサイド江戸川(都内江戸川区)
参加者 ●10名

卒業後45年目、前回から15年ぶりの同窓会を東京の葛西臨海公園内のホテルで開催しました。参加者は10名。それぞれ40年間、主に障害児・者に関わる現場で働き、一区切りをつけて今は民生委員や成年後見人、いのちの電話ボランティアや法人理事長等フィールドを広げ活動をしていることが報告されました。
学生時代のままの笑顔や話しぶりに互いの健在ぶりを確認しあった会でした。今後は、今回つながったLINEグループで近況を交流しつつ、3年後に再開をと話し合いました。
(文責 石川 良子)



われ短の仲間

開催日 ●2025年10月31日(金)~11月2日(日)
会場 ●犬山国際ユースホステル(犬山市)
参加者 ●5名

京都への旅行を皮切りに、宮崎、松山、高山、日田、渋川とメンバーが住んでいる所を順番に開催場所にして同窓会を行ってきました。今回は認定同窓会として、大同窓会への参加と合わせ、犬山への旅行を企画し、5名のメンバーが集まりました。地元の方がいるため、犬山市のディープな魅力にも触れることができました。ここ数年はメンバーの生存確認のために毎年開催しています。開催後はフォトブックを作って思い出に浸っています。来年は宮崎の予定です。
(文責 杉浦 伸枝)



小池保子ゼミ合同同窓会

開催日●2025年11月1日(土)
会 場●楽蔵うたげ(名古屋市)
参加者●5名

昨年12月1日に東京で開催した「故小池保子先生を偲ぶ会」から約1年が経ちました。今回は「大同窓会」参加にあわせ、名古屋にて「合同同窓会」を開催しました。小池ゼミ1部1期生、2部1期生・3期生・5期生が集い、小池先生の想い出を語り合いながら、多くのゼミ生に人生の最晩年まで慕われた先生のお人柄を偲びました。大学卒業後40年余りが経った今も、学部や学年の枠を超えて温かな交流ができ、改めて小池先生との出合いに感謝する同窓会となりました。

(文責 近藤 修司)



BBS赤とんぼの会

開催日●2025年11月1日(土)
会 場●ALLY'S garden nagoya(名古屋市)
参加者●54名

3年振りの大同窓会、1966年から1983年入学まで54名の赤とんぼが集いました。中には卒業以来50年振りに会うという人もいます。全員が還暦超えの世代、“今回来ておかないと”“最後かもしれない”などというコメントもありましたが、皆それぞれの地域・分野で様々な活動・実践の現役です。笑いあり涙ありの3時間、会の締めくくりは学生時代と同様、子どもたちの幸せと平和を願う歌を全員で歌唱。自然と振りが出て来る人も。翌日は70周年記念のオール児童文化部同窓会、“じゃあまた明日ね”の言葉とともに1日目の会が終了しました。

(文責 江崎 千恵美)



ヤジエセツルメント
76年入学(前後)世代

開催日●2025年11月1日(土)
会 場●サイプレスガーデンホテル(名古屋市)
参加者●22名

卒業して半世紀近く経過し、すでに他界した方もある中で現在も現役で頑張っている方、現在も闘病中の方、親や孫の世話に明け暮れている方など、お互いの境遇は様々でしたが、学生時代に経験したセツルメント活動が、それぞれの生き方の原点であるといった声も数多く語られ、あらためて元気をもらったような気持ちになりました。

(文責 福田 周二)



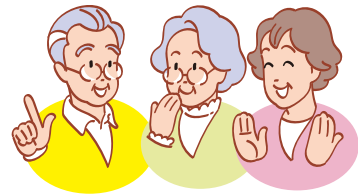
Ⅱ部都丸ゼミ会

開催日●2025年11月2日(日)
会 場●和食・酒えん(名古屋市)
参加者●5名

Ⅱ部都丸ゼミ会は5名の会員が集まりました。1名が家族の事情で欠席でした。ゼミ会の中では、それぞれの近況を出しあい、名古屋は交通費が高い、障害者自立支援法めぐる職場のこと、支給されている年金などの話題で盛り上がりました。

私たちは都丸泰助氏の下で、地方行財政のあれこれを2年間学びました。卒業後のゼミ会には夫婦そろって参加されることもあり、昨今では奥様お一人で参加されることが多くなりました。次回は桜が咲くころに奥様が参加しやすい日時、場所を考えて、ゼミの皆さまに案内したいと思います。

(文責 工藤 尚子)



近藤直子ゼミナール
(1992年卒業生)

開催日●2025年11月2日(日)
会 場●東海キャンパス
参加者●13名

13名の大人で『第4回近直ゼミの部屋』に参加!久しぶりのメンバーもいて、うれしさMAX。会った瞬間あの頃にタイムスリップ。あれから〇十年、改めて大事なことを学びました。人権が守られ一人一人が各自の幸せを求めて生きていける世の中になるようにと、福祉の大切さも心に沁みて、日福大で学べて直子先生に出会えて本当に良かったと思いました。先生からいつもたくさん学びと愛とパワーをもらっているの、私たちからも先生への感謝と愛をいっぱい送りました。

(文責 川田 優子)



1983年卒短大近直ゼミ

開催日●2025年11月2日(日)
会 場●東海キャンパス
参加者●11名

今年は「大同窓会」の開催に合わせて集まりました。第2部の「祝賀懇親会」に7名、第3部の「第4回近直ゼミの部屋」に9名の参加がありました。入れ替わりもありましたが、何と!11名もの同窓生が集まりました。祝賀懇親会は参加者が多く、カオスのような状況でしたが、お久しぶりの方もみえて懐かしく交流ができました。近直ゼミの部屋は直子センセのお話や芸達者な参加者の企画で大いに盛り上がり、翌日は筋肉痛というおまけがつかしました。

(文責 杉浦 伸枝)



**1987年卒 I 部
近藤直子ゼミ**

開催日 ● 2025年11月2日 (日)~3日 (月)
会場 ● 東海キャンパス、旅館茶家かやがや (名古屋市)
参加者 ● 10名

2024年、学友の多くが還暦を迎えるので、6年ぶりに集まろう、と。でも、定年前って意外と忙しくてお流れ…なら2025年に第4回近直ゼミの部屋が開催されるので、その時に集まろう！と誓いました。

約束通り、今年の近直ゼミの部屋には、懐かしい顔ぶれが揃いました。久々のなおこ節を満喫し、終了後には居酒屋に繰り出しました。

定年後の仕事や生活、親の介護など、話は尽きません。

翌日、なおこ先生を迎えての本番。前日はゆっくりとなおこ先生と話す余地もなかったので、大いに盛り上がったのです。

(文責 松岡 毅)



**81年3月卒第三期
近直ゼミ同窓会**

開催日 ● 2025年11月2日 (日)
会場 ● 名古屋クラウンホテル (名古屋市)
参加者 ● 10名

今回は、70周年大同窓会にあわせての開催でした。昼は、懇親会に参加したり、「近直ゼミの部屋」への参加。先生のお話に元気をもらい、歌やクイズを楽しみました。その後、名古屋のホテルへ移動して同期会の始まり。(残念ながら先生は欠席)。今回は、北は札幌、南は宮崎から参加の人もいて、10名の参加でした。会食をしながら近況報告。また新しいことにチャレンジしたり、人生を楽しむものを見つれたり……。そんな話に元気をいっぱいもらえた会になりました。

(文責 チドリ)



'82にこちゃん近直

開催日 ● 2025年11月2日 (日)
会場 ● 楽蔵つたげ (名古屋市)
参加者 ● 9名

「'82にこちゃん近直」では、9名が参加。ニックネームで呼び合えば、一気に43年前に！昼食懇親会では、おしゃべりと食事と馬酔木の歌声。♪天使のハンマー♪や♪ケサラ♪の大合唱がド迫力でした。「近直ゼミの部屋」では、直子先生の講演から、先生が私たちに与えてくださる愛の源を知って、これまでの愛の深さに胸が熱くなりました。その後、名駅の「楽蔵」で夕食会を開き、今回の同窓会に集えたことに感謝し、10年後の再会を誓い合いました。

(文責 北川 節子)



**夜間制大学院・
サービス分野1期生同窓会**

開催日 ● 2025年11月14日 (金)
会場 ● 銀座ライオンLEO (名古屋市)
参加者 ● 5名

コロナ禍を経て、5年ぶりとなるクラスの同窓会を名古屋で開催しました。2009年度に夜間制大学院へ進学した当時、30代から50代までの医療・福祉分野の多様な職種の間が、同期生として修士課程で共に学びました。今回は久しぶりの再会となり、修了から15年を経た現在の近況が次々と語られました。すでに仕事を退職した仲間がいる一方、仕事を続けながら職能団体の役員として活躍している仲間もあり、それぞれが元気に過ごしていることを確認できた、和やかで実りあるひとときとなりました。

(文責 近藤 修司)



**山崎ゼミ
(1979年度~1980年度)同窓会**

開催日 ● 2025年11月15日 (土)
会場 ● ホテルルートイン岐阜羽島ほか (羽島市)
参加者 ● 9名

2025年11月15日に岐阜羽島で、8年ぶりの山崎ゼミ同窓会を開催いたしました。参加者は、67歳~69歳と古希が近くなり、体形や髪の量、シワの数など、それなりに歳を感じさせる状況でした。一次会では近況を報告しあい、皆の活躍を讃え合いました。二次会は、カラオケルームへ移動し、カラオケは一切使用しないで、参加者のギター一本で懐かしのフォークソングやゼミ歌などの大合唱をし、お腹いっぱいになるほど歌を歌い盛り上がりしました。

(文責 郷原 悌二)



**筑豊の大人たち(ボタ山の会)
& また会かい合同同窓会**

開催日 ● 2025年12月13日 (土)
会場 ● 炉庵ROAN博多 (福岡市)
参加者 ● 10名

去る、12月13日、生憎の小雨混じりの天候の中、また会かい&ボタ山の会混合メンバー10名、博多駅東の居酒屋に参集し、講義を終えた明星先生を囲んで忘年会を行いました。

美味しい料理を囲み、久々の再開、初対面、帰省、仕事帰り、研修後など、アルコール、ノンアルコール、皆それぞれ色々でした。話題も仕事、遊び、趣味など多岐にわたり、あっという間の2時間でした。勿論、今後の活動内容についても様々な提案が交わされ、来年に向けた有意義な集いとなりました。

(文責 松尾 真一)



尾林ゼミ

開催日●2026年1月11日(日)
会 場●日本福祉大学東京サテライト
参加者●30名

東京地域同窓会と尾林ゼミ共催でコラボ学習会を開催しました。現役査察指導員の内田和樹先生から「生活保護の現場から」の講義を、田島誠一元教授からはデイサービス利用者の「外出」のために市と交渉した経緯を、工藤健一先生からは個人情報匿名加工についての最新情報を、ダブリンの小舘尚文先生と尾林先生の対談ではハイコンテクト・カルチャーについて参加者とディスカッションする形で、みんなと学びを深めることができました。学習会後は懇親会兼新年会でさらに熱く語り合いました。(文責 松橋 美奈子)



1985増山ゼミ2期同窓会

開催日●2025年12月20日(土)~21日(日)
会 場●樺花峡天然温泉宿うるおい館ほが(長野市)
参加者●20名

還暦を過ぎた増山ゼミ二期生が長野に集い、増山先生を囲んで懐かしく楽しい時間を過ごしました。子ども劇場記念公演では先生の話術に心が弾み、夜の温泉での宴会では心ゆくまで語り合いました。翌日はオープンゼミを開催し、先生の新刊『子どもを見くびらない』の内容を深めながら、日本の子どもを取り巻く現状を学び直しました。久しぶりのゼミは学生時代に戻ったような感覚があり、充実した時間となりました。その結果、「長野子どもを守る会」を立ち上げることができ、感謝しています。(文責 土屋 敦子)



斎藤千宏ゼミ同窓会

開催日●2025年12月6日(土)~7日(日)
会 場●斎藤先生宅(京都市)
参加者●5名

これまでは斎藤先生を囲んで名古屋周辺で集まっていたのですが、今回、先生の京都のお宅を訪問することができました。先生の本格的なイタリア料理をいただきながら仕事や趣味の事など近況を語り合いました。先生は、リタイアされた後もいろいろな所を飛び回っており、大学の時よりも忙しそうでした。男性陣は、そのまま雑魚寝させてもらい、翌日は、近くの神社へお参りし、先生の娘さん夫婦の珈琲ショップでベトナムとインドのコーヒーをいただきました。学生の頃が思い出され、楽しいひと時となりました。(文責 川出 薫平)



チーム新海浜

開催日●2025年11月1日(土)
会 場●番采百葉(名古屋市)
参加者●15名

今回11月2日の大同窓会に合わせ、名古屋市杖中の大学跡地周辺散策と居酒屋での懇親会を行いました。散策では、学生時代に散歩した興正寺や大学跡地にある時計塔「福祉の礎」などを見ながら、学生時代に思いをはせる機会となりました。今回は同期生で新たな参加者が加わり、また先輩からも参加を得て旧交を温めることができました。翌日の大同窓会への参加にいい弾みの場となりました。今後も信頼できる仲間とのつながりを継続したいとの思いを強くしました。(文責 瀬沼 信博)



卒業後も社会福祉士の合格を目指すなら

NFUライセンススクール

2025年度は
のべ2,870人が
受講!
※2025年12月上旬現在

社会福祉士国家試験受験対策として「NFU ライセンススクール」を開講しています。短期集中で重要項目や学習のポイントなどを解説し、全国どこからでも受講可能な「Zoom ライブ配信講座」、スキマ時間に手軽に学習できる「オンデマンド講座」、高い集中力で学べる「会場講座」など、多くのメニューを用意しています。

精神保健福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・こども家庭ソーシャルワーカー認定試験 受験対策講座なども開講予定です。2026年度合格を目指す方はホームページをご覧ください。

NFU ライセンススクール (株式会社エヌ・エフ・ユー)

<https://nfuls.nfu.co.jp/>

TEL : 0569-47-6530

e-mail : nfuls@nfu.co.jp

お問い合わせ受付時間：月～金 10：00～17：00 (土日祝日・お盆・年末年始等を除く)





社会福祉総合研修センター

研修サービスだけでなく人材採用支援サービスも展開しています！

求人情報掲載サイト「FUKU+JOB」

介護職員をはじめとして、保育士、看護師、相談職、リハビリ職、心理職など様々な専門職も含めた福祉分野のお仕事と求職者を繋ぐ求人情報掲載サイト「FUKU+JOB（ふくたすジョブ）」の運営や、新卒者・転職希望者・復職希望者と法人・事業所を繋ぐ就活イベント「FUKU+JOB キャリアフェスティバル」などのキャリアに関する様々なイベントを開催しています！

- ・学生のみならず
 - ・転職を考えている社会人の方
 - ・復職を考えている主婦の方
- などどんな方にもご活用いただけるサービスです！
アカウント登録は右記 QR コードから！
ぜひこの機会にアカウント登録して福祉の仕事で活躍しましょう！

アカウント登録は
こちらから！



人材採用・定着・育成の新たなワンストップ支援サービス「Care Bridge」

介護現場の **人材採用** **定着** **育成** を **ワンストップ** で支援します！

人材採用支援

「FUKU+JOB（ふくたすジョブ）」への**求人情報掲載が無制限**で可能！
人事担当・管理者向け WEB セミナーも受講可能！！

国家試験対策支援

介護福祉士国家試験対策のオンライン動画と確認テストを提供。
全13科目・20時間以上の内容で国家試験対策をサポート！！

人材研修支援

オンライン動画にて**日本人・外国**人材向けの研修を支援！
法定研修や階層別研修、介護技術研修等、動画は**計100時間以上**！！

1953年の開設以来、数多くの福祉人材を養成してきた学校法人日本福祉大学グループと、訪問入浴介護事業のパイオニアで、外国人材の受け入れや教育に高い実績を持つ株式会社 ASCare（旧：アサヒサンクリーン(株)）が協働し、介護現場の日本人・外国人材の採用・定着・育成を支援します。

本サービスの
詳細はこちらから！



日本福祉大学 × ASCare

Care Bridge

ケアブリッジ



お問い合わせ先



〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35 (日本福祉大学 名古屋キャンパス 北館1階)

TEL 052-242-3069 FAX 052-242-3020 MAIL ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

https://www.n-fukushi.ac.jp/recurrent/biz/



同窓会開催のお知らせ



同窓会
ホームページ

イベント情報は日々更新されますので、最新の詳細につきましては同窓会ホームページをご覧ください。

ブロック	ブロック・地域同窓会・認定同窓会	開催日	会場	内容（講師所属は2026年3月現在のものです）
北海道	北海道ブロック地域同窓会	3月22日(日)	オンライン	●卒業を祝う会
東北	秋田県地域同窓会	3月28日(土)	秋田県総合保健センター／駅前あっちゃん	●通信学生との相談交流会と卒業を祝う会
	福島県地域同窓会	3月28日(土)	酒蔵 大平山	●卒業を祝う会
関東	関東ブロック地域同窓会	3月28日(土)	主婦会館プラザエフ	●卒業を祝う会
	神奈川県地域同窓会	4月7日(火)	鎌倉市内	●春の鎌倉散策
	千葉県地域同窓会	5月10日(日)	千葉駅近辺	[文化講演会] ●講演会 ●総会 演題:成年後見制度の今後の展望(仮) 講師:古澤 肇氏(権利擁護センターばあとなあ千葉運営委員長)
	神奈川県地域同窓会	5月16日(土)	福祉保健センター ウィリング横浜	[公開セミナー & 定例総会] ●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:医療・福祉分野における意思決定支援と多職種連携 講師:篠田 道子 先生(社会福祉学部教授)
	埼玉県地域同窓会	5月31日(日)	さいたま共済会館	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:多文化共生(案) 講師:ソブエ カースティ シャーロット 先生(国際学部准教授)
	茨城県地域同窓会	6月7日(日)	茨城県県南生涯学習センター	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:未定 講師:未定
	神奈川県地域同窓会	6月16日(火)	鎌倉市内	●初夏の鎌倉散策
	神奈川県地域同窓会	6月20日(土)	横浜市内	[みんな集まれ!飲んで食べて何でも語ろう!懇親会] ●交流会
	神奈川県地域同窓会	7月11日(土)	福祉保健センター ウィリング横浜	[通信教育学生との相談・交流会] ●ミニ講演会 ●相談会 ●交流会
	群馬県地域同窓会	8月29日(土)	鳥魚炉	●研修会 ●通信生交流会 ●懇親会
	北信越	北信越ブロック地域同窓会	3月22日(日)	オンライン
石川県地域同窓会		3月21日(土)・22日(日)	(仮設) 輪島市立図書館／ 輪島市ふれあい健康センター	[能登半島地震復興支援事業 家族の漫画展・トークショー] ●展示会 ●トークショー
東海	東三河地域同窓会	3月21日(土)	萬珍軒 豊橋店	●卒業を祝う会
	静岡県地域同窓会	3月22日(日)	ホテルアソシア静岡	●卒業を祝う会
	岐阜県地域同窓会	3月22日(日)	ちこり村 大ホール	●東濃東部地域同窓会
	静岡県地域同窓会	5月10日(日)	レイアップ御幸町ビル／ ホテルアソシア静岡	●文化講演会 ●総会 ●交流会 演題:未定 講師:未定
	三重県地域同窓会	5月24日(日)	BISTRO(ビストロ)木下カメラ店	●北勢地域ブロック交流会
	西三河／碧海地域同窓会	5月30日(土)	香楽 新安城本店	[第8回キャッチ同窓会] ●総会 ●懇親会
	名古屋地域同窓会	7月11日(土)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋 ルーセントタワー	[名古屋地域同窓生の集い] ●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:その接客に「倫理」はあるか? ～対人サービスと自己形成の社会学～ 講師:原田 忠直 先生(経済学部教授・学長補佐)
近畿	近畿ブロック地域同窓会	3月28日(土)	梅田スカイビル タワーイースト	●卒業を祝う会
	大阪地域同窓会	8月22日(土)	オリエンタルホテル ユニバーサル・シティ	●総会 ●講演会 ●ワークショップ ●懇親会 演題:人間発達におけるできなさの意味の探求 講師:近藤 直子 先生(日本福祉大学名誉教授)
中国	中国ブロック地域同窓会	3月28日(土)	日本生命岡山第2ビル新館	●卒業を祝う会
四国	徳島県地域同窓会	5月24日(日)	徳島県立総合福祉センター	●総会 ●講演会 ●懇親会 演題:2040年に向けた終末期ケアとACP(アドバンス・ケア・プランニング)支援 講師:杉本 浩章 先生(福祉経営学部(通信教育)教授)
	高知県地域同窓会	6月27日(土)	高知会館	[高知県地域同窓会の集い] ●講演会 ●総会 ●懇親会 演題:犯罪をした人への社会復帰支援について考える ～高齢者犯罪への対応に関する日独比較研究から～(仮) 講師:鷲野 明美 先生(福祉経営学部(通信教育)教授)
九州・沖縄	九州・沖縄ブロック地域同窓会	3月22日(日)	福岡会場:福岡オフィス 沖縄会場:GRGホテル那覇東町	●卒業お祝い記念大交流会in九州・沖縄

地域同窓会事業は、お住まいの地域に関わらず、ご自由に参加いただけますが、一部制限させていただく場合もあります。皆さまのご参加をお待ちしています。

2027年度 同窓会・提携団体等推薦入学試験

【同窓会推薦型】のご案内について(通学課程)

同窓会推薦入試の出願要項等がすべて確定しておらず、ご案内時期は3月中旬以降の見込みです。

正式なご案内は同窓会ホームページにて行いますので、ホームページをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。



プライバシーポリシー改訂のお知らせ

学校法人日本福祉大学は、個人情報保護法の改正(2022年施行)への対応と、デジタル環境での情報保護強化を目的として、プライバシーポリシーを改訂いたします。

今回の改訂では、個人情報の利用目的をより具体的に特定し、安全

管理措置等に関する規定を明確化しました。

詳細は大学ウェブサイトにてご確認ください。皆さまの個人情報保護をより一層徹底してまいります。

7月	5(土)	名古屋地域同窓会 名古屋地域同窓生の集い(対面)
	5(土)	第1回常任理事会(対面)
	5(土)	秋田県地域同窓会 ふくしセミナーとミニコンサート(対面)
	9(水)	神奈川県地域同窓会 小さき花の園見学&江の島散策(対面)
	12(土)	神奈川県地域同窓会 通信教育学生との相談・交流会(対面)
	12(土)	福井県地域同窓会 総会・講演会(対面)
	12(土)	岐阜県地域同窓会 親睦会(対面)
	12(土)	長野県地域同窓会 総会(オンライン)
	13(日)	アメリカンフットボール部同窓会 交流試合(対面)
	17(木)	北海道地域ブロック Zoom座談会(オンライン)
	18(金)~20(日)	PSW-net 交流会(実践報告会)(対面)
	19(土)	第1回東海地域ブロック代表者会議(オンライン併用)
	19(土)	静岡県地域同窓会 公開スクーリング講義&地域交流会(対面)
	19(土)・20(日)	K-net(近藤克則ゼミ同窓会) 同窓会(対面)
8月	21(月)	兵庫県地域同窓会 総会・記念講演会・実践報告・懇親会(対面)
	26(土)	第1回理事会(オンライン併用)
	26(土)	東京地域同窓会 記念講演会&トークセッション(対面)
	26(土)・27(日)	勢和寮南寮88同窓会 同窓会(対面)
	30(水)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)
	2(土)	第1回関東地域ブロック代表者会議(オンライン併用)
	3(日)	同窓会設立70周年記念事業「オンライン交流会」(オンライン)
	3(日)	国際開発同窓会 総会・懇親会(対面)
	10(日)	群馬県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	17(日)	第1回北海道地域ブロック代表者会議(オンライン)
	21(木)	学部開設10周年記念 看護学部・看護学研究科ホームカミングデー(対面)
	21(木)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)
	23(土)	青森県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	23(土)	神奈川県地域同窓会 ちひろ美術館・東京見学(対面)
23(土)	富山県地域同窓会 座談会「しゃべり場」(対面)	
23(土)・24(日)	東京地域同窓会 スクーリング公開講義・交流懇親会(対面)	
24(日)	西三河/豊田・岡崎地域同窓会 総会および卒業を祝う会(対面)	
30(土)	宮城県地域同窓会 講演会・懇親会(対面)	
30(土)	岩手県地域同窓会 総会・在学生と地域同窓会の交流企画・懇親会(対面)	
30(土)	第1回九州・沖縄地域ブロック代表者会議(対面)	
30(土)・31(日)	香川県地域同窓会 フィールドワークと体験報告(対面)	
9月	2(火)	福岡県地域同窓会 合同ミーティング(オンライン)
	6(土)	大学院社会福祉学専攻科社会福祉専攻(通信教育)同窓会
	6(土)	第1回近畿地域ブロック代表者会議(対面)
	7(日)	第1回中国・四国地域ブロック代表者会議(オンライン併用)
	7(日)・8(月)	オニヤンマの会(対面)
	13(土)	宮崎県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	13(土)	神奈川県地域同窓会 暑気払い(対面)
	13(土)	大阪地域同窓会 災害ボラセン(対面)
	13(土)	奈良県地域同窓会 にっぶくぎずなやバーベキュー(対面)
	20(土)	1992年度卒業二木ゼミ同窓会(対面)
	20(土)	北海道地域同窓会 社会福祉セミナリウム in くしろ(対面)
	20(土)	滋賀県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	20(土)	山形県地域同窓会 特別総会・講演会・懇親会(対面)
	20(土)	長崎県地域同窓会 同窓生の体験談の発表会・総会・懇親会(対面)
24(水)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)	
27(土)	第1回東北地域ブロック代表者会議(オンライン併用)	
27(土)	愛媛県地域同窓会 総会・同窓生実践報告・在学生と同窓生の交流会(対面)	
27(土)	鹿児島県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(オンライン併用)	
27(土)・28(日)	訓覇スウェーデンセミナー(同窓会)(対面)	
10月	4(土)	福岡県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	4(土)	筑豊の大人たち(ボタ山の会)(対面)
	4(土)・5(日)	1976年卒2部大泉ゼミ 同窓会(対面)
	8(水)	神奈川県地域同窓会 津久井やまゆり園見学会(対面)
	11(土)	広島県地域同窓会 在学生と地域同窓会の交流企画(対面)
	11(土)	岐阜県地域同窓会 講演会・パネルディスカッション・親睦会(対面)
	13(月)	富山県地域同窓会 総会・交流会・懇親会(対面)

10月	16(木)・17(金)	みそしるの会 同窓会(対面)
	17(金)	蝉の会 同窓会(対面)
	18(土)	岡山県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	18(土)	高知県地域同窓会 研修交流企画(対面)
	18(土)	沖縄県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	18(土)	和歌山県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	18(土)・19(日)	76FW大泉ゼミ同窓会(対面)
	19(日)	三重県地域同窓会 総会・講演会・交流会・懇親会(対面)
	24(金)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)
	25(土)	道南地域同窓会 総会・懇親会(対面)
	25(土)	千葉県地域同窓会 映画『チョコレートの人々』から考える、共に働き、共に生きる社会(対面)
	25(土)	熊本県地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	25(土)	大分県地域同窓会 講演会・総会・懇親会(対面)
	31(金)~2(日)	われ短の仲間 同窓会(対面)
11月	1(土)	ヤジエセツルメント76年入学前後世代 同窓会(対面)
	1(土)	日本福祉大学牧野ゼミ同窓会(対面)
	1(土)	小池保子ゼミ合同同窓会(対面)
	1(土)	BBS赤とんぼの会(対面)
	1(土)	ヤジエセツルメント76年入学前後世代 同窓会(対面)
	1(土)	チーム新海浜 同窓会(対面)
	1(土)	社会福祉学部同窓会ホームカミングデー(対面)
	1(土)	大同窓会 前夜祭(対面) 特集(P13)をご覧ください。
	2(日)	大同窓会(対面) 特集(P6)をご覧ください。
	2(日)	情報社会科学部・健康科学部同窓会ホームカミングデー in 半田
	2(日)	82にこちゃん近直 同窓会(対面)
	2(日)	近藤直子ゼミ(1992卒) 同窓会(対面)
	2(日)	1983年卒短大近直ゼミ 同窓会(対面)
	2(日)	II部都丸ゼミ会 同窓会(対面)
	2(日)	81年3月第三期近直ゼミ同窓会 同窓会(対面)
	2(日)・3(月)	1987年卒1部近藤直子ゼミ 同窓会(対面)
	8(土)	福島県地域同窓会 総会・講演会・意見交流会(対面)
	9(日)	東京地域同窓会 黄葉・紅葉まつりでBBQ交流会(対面)
	11(火)	滋賀県地域同窓会 日本福祉大学キャンパスツアー ~1日限りのバスツアー~(対面)
	12(水)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)
	14(金)	夜間制大学院サービス分野第1期生同窓会(対面)
	15(土)	神奈川県地域同窓会 設立40周年記念 記念講演会&パーティー(対面)
	15(土)	新潟県地域同窓会 同窓生の集い in 長岡(対面)
	15(土)	京都地域同窓会 総会・講演会・懇親会(対面)
	15(土)	島根県地域同窓会 研修会・総会・懇親会(対面)
	15(土)	北海道田中会 同窓会(オンライン)
	15(土)	山崎ゼミ同窓会(1979年度~1980年度) 同窓会(対面)
	16(日)	大阪地域同窓会 teatime交流会(対面)
22(土)	香川県地域同窓会 スクーリング講義・通信生歓迎交流会(対面)	
22(土)	介護学専攻同窓会 在学生交流会(対面)	
22(土)	第2回常任理事会(対面)	
25(火)	北海道地域ブロック Zoom交流会(オンライン)	
29(土)	兵庫県地域同窓会 通信学部生情報交換会 「ゆるつな」(オンライン併用)	
30(日)	社会福祉セミナー in 鳥取(オンライン併用)	
30(日)	神奈川県地域同窓会 社会福祉セミナー in 鳥取をliveで視聴する会(対面)	
30(日)	東京地域同窓会 パブリックビューイング in 東京サテライト(対面)	
30(日)	千葉県地域同窓会 社会福祉セミナー in 鳥取に千葉からも参加しよう!(対面)	
12月	5(金)	神奈川県地域同窓会 晩秋の鎌倉散策(対面)
	6(土)	東京地域同窓会 国立ハンセン病資料館& 国立療養所多摩全生園見学会(医療部会)(対面)
	6(土)	知多地域同窓会 市民公開講座映画上映会 『オレンジ・ランプ』&トークセッション・総会(対面)
	13(土)	神奈川県地域同窓会 忘年会(対面)
	13(土)	筑豊の大人たち(ボタ山の会)& また会かい合同同窓会(対面)
	13(土)	第2回理事会(オンライン併用)
	16(火)	大阪地域同窓会 よるかつオンライン交流会(オンライン)
20(土)	岡山県地域同窓会 忘年会(対面)	
20(土)・21(日)	1985増山ゼミ2期同窓会(対面)	

事業報告

里親支援センター等 人材育成プログラム



こども家庭庁の補助を受け「[令和7年度里親支援センター等人材育成プログラム](#)」を実施いたしました。3年連続の採択となる本事業では、里親支援センター職員等の専門性向上を目的に、オンデマンド講義と全国8都市10会場での対面演習を行い、1,100名を超える方に申し込みをいただきました。また、担い手の掘り起こしを目的とした「[令和7年度里親支援センター等人材育成プログラム スペシャルフォーラム](#)」を3都市で開催し、約400名が参加したほか、養育の質向上を目指し、「[令和7年度第三者評価機関職員研修プログラム](#)」を東京・大阪で実施しました。これらの取り組みを通じ、支援体制の基盤強化に努めております。今後も里親支援をはじめとした社会的養護に携わる現任者を対象に、現場のニーズに応じた研修を継続的に実施してまいります。

未来へのふくし航路 ～ Social Change Symposium ～



「[未来へのふくし航路～ Social Change Symposium ～](#)」は、日本福祉大学の教員を軸に、各分野の有識者を迎え、社会の変革をめざした対話と発信を行うことを目的としたシンポジウムです。東京サテライト（有楽町）を拠点に開催し、ふくしをめぐる今日的なアジェンダについて、提言にとどまらず、解決に導く糸口を参加者とともに考える場を創出しています。2026年1月には、学園創立70周年事業の一環として「[未来へのふくし航路 特別回](#)」を開催し、5名の登壇者と約200名の参加者と共に「[Well-being for All をどう実現していくか～その戦略を探る～](#)」をテーマに、制度や分野を越えた支え合いのあり方について活発な議論が交わされました。今後も本学では、「未来へのふくし航路」を通じて、社会に開かれた対話と発信の場を継続的に創造していきます。

Coming Soon

履修証明プログラム **学校福祉**

申込期間 2026年4月中旬～（予定）

さまざまな生きづらさを抱えたこどもたちを支援するため、こども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理に関わる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身に付けてもらうための講座です。講座はオンデマンド講座＋会場集合型研修の計60時間開催！会場は名古屋鶴舞周辺を予定しています。修了者は認定資格「学校福祉士」の取得も可能です！



お問い合わせ先

日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 東京
TEL/03-5220-2825

日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 名古屋
TEL/052-242-3069

recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

FUKUSHI ACADEMY HP



日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 東京

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館 7階
アクセス/ JR線山手線・京浜東北線:有楽町駅 徒歩1分、
地下鉄 有楽町線:有楽町駅、銀座一丁目駅 徒歩1分



日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY 名古屋

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35
名古屋キャンパス内
アクセス/ JR鶴舞駅名大病院口より南へ徒歩1分、
鶴舞公園口より北へ徒歩2分

履修証明プログラム 学校福祉



21年度から開講をしている「[履修証明プログラム学校福祉](#)」を25年度も開講。

さまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するため、
子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、
教育・福祉・心理に関わる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身に付ける講座。
本年度も、教員やスクールソーシャルワーカー、行政職員や地域の児童館に
勤務されている方など、様々な子ども支援関係の職種につく70名以上の方から
お申込みをいただきました。

また本年度から本プログラムを修了した方にはFUKUSHI ACADEMYが認定する
[認定資格「学校福祉士」](#)の付与を開始。

前年度までの修了者も含めて200名以上の「学校福祉士」が誕生しました。
次年度も本プログラムは開講予定！詳細は以下およびホームページをご確認ください。

こども家庭 ソーシャルワーカー研修



認定資格「こども家庭ソーシャルワーカー」を取得を目指す方を対象とした

[「日本福祉大学 こども家庭ソーシャルワーカー認定資格 認定研修プログラム」](#)
を24年度に引き続き、25年度も開講しました。

70年を超えるソーシャルワーク教育の実績がある日本福祉大学が、医療関係者や
児童相談所など様々な現場経験をもつ実践者と協働して作成したプログラムで、
“本当に支援に活用できる現場に即した実践的な学び”を提供しました。

会場集合型の研修も多く取り入れて受講者同士が交流もできることや、
試験対策講座を開講による資格取得のサポート体制も好評いただきました。

さらに2026年2月には、東京会場・名古屋会場の2会場で
[「こども家庭ソーシャルワーカー フォロアアップ研修」](#)も開講し、
資格取得後も継続して学びやつながりを持続する機会を提供しています。

こども家庭 ソーシャルワーカー研修

申込期間 2026年4月中旬～（予定）

2024年度に創設された認定資格「こども家庭ソーシャルワーカー」の受験資格を得るための
研修プログラムを26年度も開催します！指定研修・追加研修・ソーシャルワーカー研修の
3種全ての開講を予定しており、4つの資格取得ルートを全て網羅！指定研修は東京会場・
名古屋会場の2会場で開催をします！試験対策講座も開講し、合格までのサポートも充実！





興味のある科目を1科目から学べる 「科目等履修生」

※日本福祉大学卒業生は、学費減免制度の対象です（選考料と入学金が無料）

職場や家庭における課題を解決するために「学び直し」のニーズが増えています。日本福祉大学通信教育部では、興味のある科目を1科目から学ぶことが可能。以下に、科目等履修生で資格取得ができるおすすめのカリキュラムをご紹介します。詳しくは「日本福祉大学通信教育部」ホームページをご覧ください。

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす

認定心理士

最短1年で資格取得可能！
大学(院)卒の方は科目等履修生でも取得が目指せます

認定心理士とは、「心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技術を修得している」と公益社団法人日本心理学会が認定する資格です。大学で資格対応科目を修得した後、日本心理学会に申請することで取得ができます。

こころの働きの現れである「行動・言動」や「無意識」、「発達・検査」に関することまで幅広く心理学を学ぶため、職場や家庭での心理的ケアや寄り添った支援が必要な方に人気です。詳しくは「日本福祉大学通信教育部 認定心理士」ページ（右記）をご確認ください。



●開講科目(単位数)

心理学(2単位)、教育心理学概論(2単位)、心理学研究法(2単位)、心理検査法(2単位)、心理学実験(4単位)、知覚心理学(2単位)、認知心理学(2単位)、高齢者の心理(2単位)、発達心理学(2単位)、発達臨床心理学(2単位)、学校心理学(2単位)、福祉心理学(2単位)、臨床心理学(2単位)、司法・犯罪心理学(2単位)、教育相談(2単位)、産業組織心理学(2単位)、社会心理学(2単位)、消費者心理学(2単位)、色彩心理学(2単位)

生活と仕事に役立つ 金融リテラシーを **AFP資格**

金融リテラシーはビジネスにおける身につけておくべき3種の神器の1つ



日本福祉大学通信教育部は、**【AFP認定研修】の特別認定教育機関！** 期間内に8科目を修得するだけで、AFP受検資格を取得することができます。

【AFP認定研修】は、試験合格に導くオリジナルテキストを使用。通学不要!全国どこからでも学べます。

＼2026年4月より／

※1
「学士(看護学)申請資格」
取得カリキュラムがスタート!

オンライン
で完結

レポート提出
原則不要



対象者

学位記授与機構(看護学)
第2区分該当者

看護系3年制短期大学卒業生

看護系3年制専修学校専門課程修了者※2

※1.大学改革支援・学位授与機構を利用(最終審査は学位授与機構が行います)

※2.修業年限3年以上かつ修了に必要な総授業時間数2,550時間以上の看護系専修学校専門課程修了

2027年度

同窓会・提携団体等推薦入学試験

【同窓会推薦型】のご案内 (通学課程)

同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】とは…

日本福祉大学同窓会は、“ふくし”のさらなる発展とその実現に寄与し、卒業後は本学同窓会活動に協力できる方のための「同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】」を用意しています (同窓会員の親族の有無は問いません)。

入学後は、地域オフィス・サテライトとともに、地域同窓会 (全都道府県に設置) が、オンライン面談等も活用して学生生活、Uターン就職活動をバックアップします。また、4年間を通して半期ごとに30,000円の学生生活支援金を交付します (年間60,000円、在学期間中最大240,000円)。

本入学試験に関心をお持ちの方は推薦を受けるために、**2026年7月19日(日)必着まで**に提出していただく書類 (志望動機書) があります。間に合うように余裕をもって、相談受付窓口 (下記) までご連絡をお願いいたします。

2027年度同窓会・提携団体等推薦入学試験【同窓会推薦型】概要

◆ 募集定員

全学部・学科・専攻・専修とも 若干名

◆ 出願期間

インターネット出願登録期間

2026年9月21日(月)午前9時～10月2日(金)午前10時まで
入学検定料払い込み期限/10月2日(金)午後1時まで
出願書類提出期限/10月5日(月)午後5時必着

◆ 試験日・試験会場

2026年10月18日(日)
日本福祉大学 東海キャンパス

◆ 試験内容

書類審査・プレゼンテーションおよび面接 (200点満点)
※面接冒頭に提出書類の内容を2分程度で説明していただきます (プレゼンテーション)。
プレゼンテーションについては面接者より指示があります。

◆ 出願資格

次のすべてを満たす者

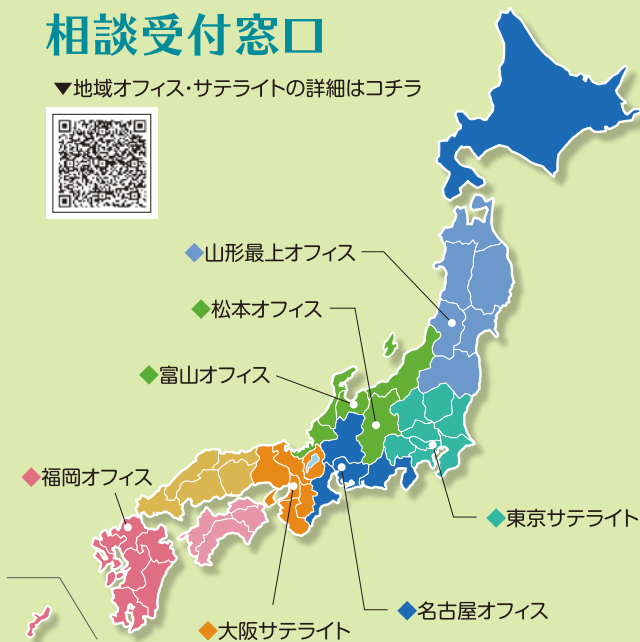
- 学校教育法第1条で定める高等学校を2027年3月卒業見込みの者 (中等教育学校、特別支援学校の高等部卒業見込みまたは高等専門学校の3年次終了見込みを含む) で、人物および学力ともに優れ、本学で積極的に学ぶ意欲を有する者
- 本学を専願とする者 (合格者は必ず入学していただきます)
- 出願時の全体の評定平均値が以下の基準を満たしている者

①社会福祉学部	3.2以上
②経済学部	3.0以上
③国際学部	3.0以上
④看護学部	3.8以上
⑤総合政策学部	3.2以上
⑥健康科学部	3.5以上
⑦工学部	3.2以上
⑧教育・心理学部 (こども学科)	3.0以上
⑨教育・心理学部 (学校教育学科)	3.2以上
⑩教育・心理学部 (心理学科)	3.2以上
⑪スポーツ科学部	3.2以上
- 日本福祉大学同窓会より推薦を受けた者

◆ 検定料 5,000円 ※同窓会推薦入試入学検定料減額措置制度による

相談受付窓口

▼地域オフィス・サテライトの詳細はコチラ



地域ブロック	都道府県名	オフィス・サテライト名	TEL
北海道	北海道	◆名古屋オフィス	052-242-3045
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	◆山形最上オフィス	0233-43-9232
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨	◆東京サテライト	03-5220-2825
北信越	新潟・富山・石川・福井	◆富山オフィス	076-431-2027
	長野	◆松本オフィス	0263-31-9011
東海	岐阜・愛知・三重・静岡	◆名古屋オフィス	052-242-3045
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山		
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	◆大阪サテライト	06-6468-2400
四国	徳島・香川・愛媛・高知		
九州・沖縄	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	◆福岡オフィス	092-737-7108

他にも、

第3学年同窓会推薦編転入学試験【前期日程・10月18日(日)】【後期日程・2月6日(土)】も実施します。

詳細は入学広報課へお問い合わせください。

受験生サイトはコチラ ▶



同窓会維持会費について

- ・払込取扱票は発送宛名を兼ねております都合上、会費納入記録の有無に関わらず皆さまにお送りしています。
 - ・同窓会カード(三菱UFJニコス・VISA)をお持ちの場合、払込取扱票での維持会費のお振り込みは不要です。10月のご利用分としてカード会社から引落としとなります。詳細はカードご利用明細をご確認ください。
- カード引き落とし対象:9月30日時点でカードご契約の方

★お納めいただいた最終年度は宛名の払込用紙の#に続けて印字されております。(例:#2022・・・2022年度分まで納入済) → 宛名印字完了から会報発送までの間にお振り込みいただいた場合は、最新のお振り込み状況が反映されていない場合があります。何卒ご了承ください。

- ◆本同窓会は、寄付金控除の対象となる団体ではありませんのでご了承ください。なお、税制上の優遇措置をご希望の場合は、日本福祉大学への寄付をお願いいたします。(詳細は、大学ホームページをご参照ください)
- ◆1年度分(¥1,000)から納入できます。(8月号は当年度分、3月号は翌年度分に充当します)
- ◆複数年度分(¥1,000×年数分)を納入される場合は、払込用紙に**必ず納入したい年度をご記入**ください。(過年度分の納入も可能です。会費制度が開始された1995年度以降でご指定ください)
- ◆ご記入いただいた年度の同窓会維持会費を既に納入済の場合は、翌年度(以降)分に充当します。(同一年度分を二重で頂戴することはありません。納入いただきました会費の返金には対応しておりません)
- ◆インターネットバンキングからの納入も可能です。(振込手数料はご負担ください) お名前の前に同窓会員ID(宛名の下に記載)を必ず入力してください。また、通信欄へ入力可能な場合はご希望の納入年度をご入力ください。



①銀行名・支店名で振込
(都市銀行・地方銀行・ゆうちょ銀行など)

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	〇八九(ゼロハチキ्यू)
種別	当座
口座番号	0065485
口座名義	日本福祉大学同窓会

②記号・番号で振込(ゆうちょ銀行のみ)

記号	00890
番号	65485
口座名義	日本福祉大学同窓会

皆さまからご協力いただいた同窓会維持会費の主な支出内訳

同窓会事業…卒業生の交流・親睦、大学との連携	在学生支援…同窓会推薦入試学生生活支援金、
活動援助金…全国57地域同窓会、認定同窓会等	Uターン就職援助金、卒業記念品、卒業お祝い関連行事
会報出版・郵送…同窓会会報8月号、3月号	懸賞論文事業奨励金

同窓会維持会費についてご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。

安全・安心の1枚 日本福祉大学同窓会カード!

※三菱UFJニコスと提携

同窓会カードのメリット

■ゴールドカード年会費 永年無料!(注1)

(注1) 同窓会維持会費(1,000円/年)をお支払いいただく(※)ことで、ゴールドカード年会費が無料になります。

※同窓会維持会費は毎年9月30日時点で同窓会カードをご契約の方を対象に、10月のご利用分として11月にカード会社より引き落としとなります。

■ポイント利用いろいろ!

商品への交換、キャッシュバック、提携他サービスへのポイント移行ができます。

■持っているだけで在学生支援!

同窓会カード利用額の一部は同窓会に還元され、在学生支援や同窓会活動の充実に役立ちます。

■安心の各種保険サービス!

海外旅行保険・国内旅行傷害保険・ショッピング保険付帯
・詳細はカード会社のHPにてご確認ください。

■ETCカード・家族カードも作成可能!

同窓会カードがお手元に届いてからお手続きください。

お申し込み方法

同窓会カード申込専用サイトよりお申し込みください。(注2)

(注2) ・カードの審査・発行にはお時間を頂戴します。

・受付はインターネットのみとなります。

郵送ではお申し込みいただけませんのでご了承ください。



〈▲受付はこちらから〉



仕事や家庭の課題解決に導く力を 身につけるなら 日本福祉大学 通信教育部

卒業生は
入学選考料・
入学金が
無料!

学びを自由に組み合わせる

各領域のプロフェッショナルによる講義を150科目以上開講!

2025年度900名以上が入学!

こころの理解を深め、職場や家庭での支援に活かす
「認定心理士」カリキュラム開講中
科目等履修生でも取得可能



社会福祉士国家試験 **17年連続** 合格者数全国大学 **第1位**の実績
精神保健福祉士国家試験 **15年連続**

忙しい社会人に支持される 学習システム

※履修登録や科目修了試験はパソコンで実施します。
一部のテキスト科目、スクーリング科目は、レポートによる
試験を実施します。

授業も単位修得もインターネットで!
レポート提出も不要です。



目指せる資格(受験資格等を含む)

- 認定心理士
- 社会福祉士
- AFP(FP資格)
- 児童指導員任用資格
- 身体障害者福祉司任用資格
- 初級バラスポーツ指導員
- 学士(看護学)申請資格
- 精神保健福祉士
- 社会福祉主事任用資格
- 児童福祉司任用資格
- 知的障害者福祉司任用資格

「科目等履修生」なら関心ある科目を1科目から学べる

- ▶関心のある科目だけを学びたい
- ▶少ない科目から学習を始めたい
- ▶認定心理士を取得したい
- ▶AFP(FP資格)を取得したい

2026年度入学 出願期間

[正科生]2025年12月1日~2026年3月31日 [科目等履修生・特修生]2025年12月1日~2026年8月31日

■短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にもキャリアに合わせた入学制度があります。■取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。■志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。■経済的に無駄のない単位制学費。5-6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。
●本学園同窓会員、および同窓会員の推薦を受けた方を対象にした学費等の減免制度を設けています。



日本福祉大学 通信教育部
福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学通信教育部事務室
TEL:0569-87-2932
日本福祉大学 通信 検索
www.nfu.ne.jp

資料請求は
こちらから▶

